観光交通実証調査委託業務

事 業 成 果 報 告 書

令和３年２月

南 城 市

（事業受託者：株式会社オリエンタルコンサルタンツ）

－ 目 次 －

１．　業務概要 1

１．１ 業務の背景 1
１．２ 業務の目的 1

２．　実証調査の実施 2

２．１ 実証計画の検討 2
２．２ 実証調査の実施 18
（１）実証調査の実施概況 18
（２）モビリティ等の利用実績 24
（３）利用者アンケートの実施 27
（４）動態分析調査の実施 47
（５）ポタうま～いの実施 52

３．　実証調査のプロモーション 58

３．１ プロモーションの実施概要 58
３．２ プロモーションの実施結果 60

４．　課題の整理及び今後の取組検討 72

４．１ 実証調査結果のまとめ 72
４．２ 課題の整理及び今後の取組検討 86

５．　関係者会議の開催 90

５．１ 第１回関係者会議の開催概要 90
５．２ 第２回関係者会議の開催概要 92
５．３ 第３回関係者会議の開催概要 94

1． 業務概要

1．1 業務の背景

南城市では、平成 30 年 3 月に策定した第２次南城市観光振興計画の中で「持続可能な観光まちづくり」を掲げており、令和 2 年 2 月に南城市観光交通実施計画を策定した。

南城市観光交通実施計画は令和元年 10 月の公共交通網の再編（N バスの運行開始）を受けた観光交通としてのアクションを、観光振興計画の具体策として取り纏めたものであり、観光振興計画の基本理念を受け「暮らすような旅を楽しめるまち／ウェルネス・カルチャーリゾート南城」をビジョンとして掲げ、観光視点から多様なニーズに即したモビリティを導入し､N バスを含めて南城らしさを満喫してもらうための施策を 5 つの基本方針、12 の基本施策、25 の具体的取組として纏めている。

1．2 業務の目的

本業務では、南城市観光交通実施計画のビジョン「暮らすような旅を楽しめるまち／ウェルネス・カルチャーリゾート南城」の実現に向け、公共交通を利用した南城市の観光を推進することを目的とし、斎場御嶽、ヤハラヅカサ、奥武島の３拠点における近隣バス停との接続を可能とするモビリティを一定期間導入し、レンタルシステムや動線の実証実験を行うとともに、利用者に対してアンケート調査を実施し、モビリティやシステムに関する意見を求め、課題を整理し、今後必要なサービスについて把握する。

表 1　南城市観光交通実施計画の施策体系

基本方針	施策	具体的な取組内容
基本方針1 使う	施策1. 市民、事業者、行政の意識の醸成および利用の実践	取組①：市民の公共交通等による市内観光の促進
		取組②：「ボタうま～い」イベントの継続開催
	施策2. 観光ニーズに対応したサービスの拡充	取組③：手ぶら観光の推進
		取組④：移動と観光のキャッシュレス対応、デジタルチケット等の導入
	施策3. 移動中や待ち時間の案内の充実、環境整備	取組⑤：バス車内、バス停等における観光案内等の充実
		取組⑥：バス待ち環境に関する快適性の向上、環境整備
		取組⑦：まちの美化活動の実施
基本方針2 創る	施策4. 観光利用を意識した新たな交通の導入	取組⑧：那覇空港と南城市内を直接結ぶアクセス交通の導入による市内観光周遊の促進
		取組⑨：市内の観光資源を結ぶ観光交通の導入
	施策5. 環境にやさしいエコモビリティの導入	取組⑩：観光資源を回遊する小型EVやグリーンスローモビリティの導入
	施策6. 自転車観光の推進	取組⑪：レンタサイクルの拡充
		取組⑫：自転車観光の推進に必要な人材やサービス・設備等の導入
	施策7. 観光パーク＆ライドの実施	取組⑬：観光ピーク期におけるパーク＆ライドの実施

基本方針	施策	具体的な取組内容
基本方針3 併せる	施策8. 観光と交通がセットになった商品やサービスの開発	取組⑭：周遊バスやバスパック等の開発
		取組⑮：ナイトツーリズムやウェルネスプログラムと連携した移動手段の構築
		取組⑯：ツアーバスや観光タクシーの促進
	施策9. 観光MaaSの推進	取組⑰：最新のICT技術を活用したシームレスな観光交通の提供
		取組⑱：AIによる観光交通案内の導入
		取組⑲：ライドシェアや自動運転等の新しい仕組みや技術に対する調査研究
基本方針4 魅せる	施策10. 観光交通に関する情報の見える化の推進	取組⑳：公共交通等による観光アクセス方法に関する表示の促進
		取組㉑：観光2次交通情報に関するオープンデータ化の推進
	施策11. 観光客向けの楽しみ方やモデルコース等の発信	取組㉒：観光客に向けた情報媒体の制作やモデルコースの構築
		取組㉓：「暮らすような旅を楽しめるまち／世界水準のウェルネス・カルチャーリゾート南城」のプロモーション
基本方針5 続ける	施策12. 観光交通の継続的な運用および改善	取組㉔：継続的な利用実態やニーズ調査
		取組㉕：観光交通をオペレーションする組織や体制の構築

➔本業務では、赤字（取組⑨⑩⑪）のモビリティ導入の実証を中心に進める。

２．実証調査の実施

２．１　実証計画の検討

本実証調査では、南城市内での観光移動の利便性を向上し、滞在や周遊、消費等を促進することを目的に、N バスを補完する小型モビリティ、レンタサイクル（電動、折りたたみ）、EV カートを、がんじゅう駅・南城、新原ビーチ、奥武島、市役所等に配置した。

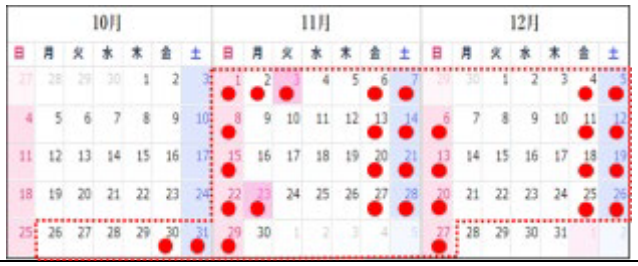
以下では、本実証調査において、検討した実施計画および運用マニュアル、新型コロナウイルスの感染予防対策等について示す。

（１）実施計画

１）実施概要

本実証調査の実施概要を以下に示す。

表　２　本実証調査の実施概要

期間	令和２年 10 月 26 日（月）～12 月 27 日（日）　計 63 日間 ※EV カートは金土日祝など 30 日間運行  ※赤丸は空港との PR シャトルバス、EV カートの運行予定日
受渡/運行時間	10 時～18 時
内容	①モビリティの配置 ―3 種のモビリティを観光地付近の４つの拠点に配置 ―利用者は、本実証実験の特設 HP に掲載する予約フォームから予約し、利用 ②広報の実施 ―モビリティの予約システム等を掲載した HP を立ち上げ ―空港―南城市間のシャトルバスを運行 ―リーフレット、現地案内看板等で広報を実施 ③効果検証 ―利用者へのアンケート調査、動態調査等の実施 ―モビリティ導入の効果、課題の整理 ―実証実験後の運行方法、継続的なスキームの検討
モビリティの種類	○レンタサイクル（折りたたみ自転車、電動アシスト自転車） ○小型モビリティ（日産ニューモビリティコンセプト（２人乗り）） ○EV カート（ヤマハゴルフカート（７人乗り、一部４人乗り））
設置場所	①南城市役所　　②がんじゅう駅・南城 ③新原ビーチ付近　　④奥武島（いまいゆ市場）

２）実証モビリティの概要

本実証調査にて導入したモビリティは以下のとおり。

表 3　実証モビリティの概要

区分	モビリティの概要	連携先	設置箇所・数	利用イメージ
レンタサイクル	折りたたみ自転車 	沖縄輪業	・南城市役所（４台） ・がんじゅう駅（４台）	・HP から事前予約。 ・市役所、がんじゅう駅にてレンタル。 ・N バスに持ち込み、バスを降りた後の周遊観光に活用してもらう。
	電動アシスト自転車 	沖縄輪業	・新原ビーチ（４台） ・奥武島（４台）	・バス停付近にポートを設置しＮバスを降りた後の周遊観光に活用してもらう。
		観光協会	・がんじゅう駅（４台）	（既存のレンタサイクルとの連携）
小型モビリティ	日産ニューモビリティコンセプト（２人乗り） 	りゅうにちHD、琉球日産	・南城市役所（３台） ・がんじゅう駅（３台）	・路線バスで来た方が南城市内を周遊する手段の一つとしてレンタル実施。 ・観光地めぐり、集落散策等に活用してもらう。
EV カート	ヤマハゴルフカート（７人乗り） 	沖縄ヤマハ、うるま市	・奥武島～新原ビーチ～ヤハラヅカサ間（２台）	・ドライバーが地点間を定期的に 20km/h 以下でゆったりと運行。 ・N バスを降りた後のラストワンマイルの足として活用（斎場御嶽、ヤハラヅカサ等）。 ・N バスの乗り換えが必要な新原ビーチ～奥武島間の移動手段としても活用してもらう。
シャトルバス※	大型バス （定員約 40 名） 	沖縄観光バス 東陽バス 沖縄バス 琉球バス	・那覇空港	・実証実験期間中の金土日祝など ・那覇空港～県庁入口～南城市役所の直通便、那覇経由の２種類を運行（各便３往復/日） ・直通の無料シャトルバスとして利用してもらう。 ・カーラッピングを施し、本実験の PR も実施する。

※シャトルバスは、プロモーションの一環として運行。

3）モビリティの運行内容・利用方法

各モビリティのサービス・運行内容と利用方法を以下に示す。

■折りたたみ自転車

表 4　折りたたみ自転車の実証内容等

形態	レンタル
予約方法	オンライン予約
貸出場所	南城市役所（4 台）、がんじゅう駅（4 台）
運行日時	10 時-18 時
利用方法	・対人での貸渡 ・受付時に解錠コードを記載したカードを配布。 ・貸出場所へ返却
料金	1 日 500 円　※短時間での利用も可能
支払い方法	・オンライン決済（クレジットカード等） ・現地現金決済
その他サービス	・受付時に貸し出す N バス携行用バッグに入れることで N バスに持ち込むことが可能。 ・折りたたみ自転車を利用の方は、N バス（市内バス）1 日乗車券とセットになったお得なパッケージプランの購入も可能。料金：1000 円（税込）。 ※通常、N バス（市内バス）1 日乗車券は大人 700 円で販売

■電動アシスト自転車

表 5　電動アシスト自転車の実証内容等

形態	レンタル
予約方法	オンライン予約
貸出場所	新原ビーチ（4 台）、奥武島（4 台）、 がんじゅう駅（4 台、観光協会既存）
運行内容	10 時-18 時
利用方法	・解錠コードによる無人での貸渡 ・解錠コードは予約確認メールで案内 ・貸出場所へ返却
料金	1 日 500 円 ※観光協会貸出分は、終日 700 円 ※短時間での利用も可能
支払い方法	・オンライン決済（クレジットカード等） ・現地現金決済（がんじゅう駅のみ）

■小型モビリティ

表 6　小型モビリティの実証内容等

形態	レンタル
予約方法	オンライン予約
貸出場所	南城市役所（3 台）、がんじゅう駅（3 台）
運行内容	10 時-18 時
利用方法	・対人での貸渡（利用方法、注意事項等の説明） ・貸出場所へ返却
料金	1 日 1,500 円　※短時間での利用も可能
支払い方法	・オンライン決済（クレジットカード等） ・現地現金決済

■EV カート

表 7　EV カートの実証内容等

形態	送迎
予約方法	予約不要
貸出場所	奥武島～新原ビーチ～ヤハラヅカサ間（3 台運行）
運行内容	・以下の３ルートを運行 ①新原ビーチ～奥武島（いまいゆ市場）間　　片道約 20 分 ②ヤハラヅカサ～新原ビーチ間　　片道約 10 分 ③奥武島一周　　一周約　8 分 ・車両は、計 3 台で運行（常時 2 台が稼働） ・①、②は各乗車場所から 1 日 7 便ずつ、60 分間隔で運行 （奥武島⇒新原は、1 日 8 便） ・利用客の希望による途中降車可能 ・①、②、③については状況に応じて臨時便を運行
利用方法	・乗降ポイントで待っていただき、先着順で乗車 ・スマホ等でカートの運行位置が把握可能なシステムを検討
料金	無料
支払い方法	―
その他	・11 月 15 日（日）まで 1 台 4 人乗りのカート ・11 月 16 日（月）の週より入れ替え、 11 月 20 日（金）から全３台、7 人乗りのカートで運行。

《運行ルート》

●奥武島～新原ビーチ～
ヤハラヅカサ間



《運行ダイヤ》

●奥武島（いまいゆ市場）
⇒新原ビーチ・ヤハラヅカサ方面

	奥武島 いまいゆ市場	→ 新原ビーチ	→ ヤハラヅカサ
①	10:00発	10:15発	10:20着
②	11:00発	11:15発	11:20着
③	12:00発	12:15発	12:20着
④	13:00発	13:15発	13:20着
⑤	14:00発	14:15発	14:20着
⑥	15:00発	15:15発	15:20着
⑦	16:00発	16:15発	16:20着
⑧	17:00発	17:15着	-

●ヤハラヅカサ・新原ビーチ
⇒奥武島（いまいゆ市場）方面

	ヤハラヅカサ	→ 新原ビーチ	→ 奥武島 いまいゆ市場
①	10:40発	10:45発	11:00着
②	11:40発	11:45発	12:00着
③	12:40発	12:45発	13:00着
④	13:40発	13:45発	14:00着
⑤	14:40発	14:45発	15:00着
⑥	15:40発	15:45発	16:00着
⑦	16:40発	16:45発	17:00着

■シャトルバス（※プロモーションの一環として運行）

表 8　シャトルバスの運行内容等

形態	送迎
予約方法	・オンライン予約 ・市内宿泊者は予約不要
運行内容	・那覇空港～県庁北口～南城市役所（ユインチホテル南城隣接）
利用方法	・金、土、日、祝などの曜日限定運行 ・定員約 40 名。
料金	無料
支払い方法	―

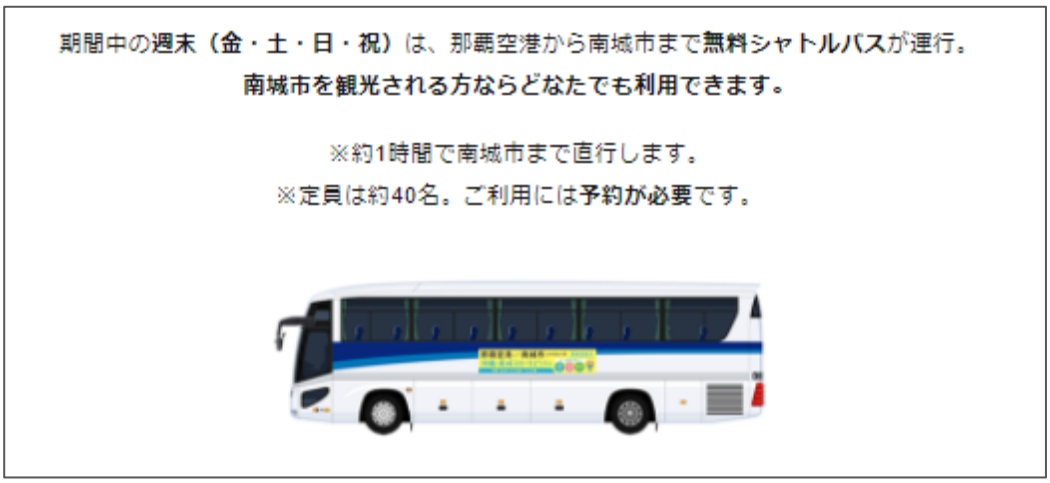




図 1　空港-南城市間のシャトルバスの運行概要

4）各モビリティの設置箇所

各モビリティの設置箇所は以下の通り。

表 9　拠点ごとの導入するモビリティの概要

拠点・設置箇所		最寄りバス停	設置するモビリティ
①南城市役所	・公共交通案内所横	南城市役所	・折りたたみ自転車　４台 ・日産小型モビリティ　３台
②がんじゅう駅・南城	・南城市観光協会内	斎場御嶽入口	・折りたたみ自転車　４台 ・日産小型モビリティ　３台
			・電動アシスト自転車　４台
③新原ビーチバス停横	・新原ビーチバス停横	新原ビーチ	・電動アシスト自転車　４台 ・ヤマハゴルフカート（新原ビーチ～ヤハラヅカサ間）
④奥武島	・奥武島いまいゆ市場	奥武島	・電動アシスト自転車　４台 ・ヤマハゴルフカート（奥武島～新原ビーチ間）



図 2　モビリティの設置箇所

５）人員配置計画

各拠点には、案内スタッフ、サポートスタッフ、EV カートのドライバーを配置し、モビリティの受け渡しや問合せ対応等に対応した。

各スタッフの役割、配置人数等は以下の通り。

表 10　全体人員配置

場所		業務内容	人数
①南城市役所	南城市役所バス案内所横	案内など	2～3 名程度 （実証期間中常駐）
②がんじゅう駅・南城	南城市観光協会の窓口	案内など	2～3 名程度 （実証期間中常駐）
③新原ビーチ～奥武島（いまいゆ市場）		ドライバー	2～3 名程度 （土日祝など EV カート運行日）

（２）運用マニュアルの作成

本実証調査の実施にあたり、貸渡スタッフおよび各ドライバー、各モビリティ関係者に対しての運用マニュアルを作成した。

表 11　作成したマニュアルの一覧

対象者	マニュアル名	内　容
貸渡スタッフ （南城市役所／ がんじゅう駅）	南城市スローモビリティ 実証調査運用マニュアル	・本実証調査の概要 ・緊急連絡体制 ・貸渡手順 ・予約システムの運用方法 ・モビリティのメンテナンス方法 ・特典の対応方法　等
貸渡スタッフ （南城市役所／ がんじゅう駅）	案内スタッフマニュアル	・出勤から退勤までの作業一覧 ・報告事項の共有方法　等
EV カート ドライバー	EV カート運行マニュアル	・運行時刻表 ・乗降箇所の説明 ・運行の際の留意点 ・利用者乗降の際の留意点　等
シャトルバス ドライバー	シャトルバス運行に あたっての留意事項	・予約者の確認方法 ・各停留所での運用方法 ・乗車記録表の依頼　等

（３）実証実験における感染防止対策

本事業で行った新型コロナウイルス感染防止対策を以下に示す。

１）モビリティの感染防止対策

- レンタサイクルは、ハンドルやサドルなど、不特定多数が接触する場所をスタッフが定期的に消毒
- 対人で受け渡しを行う小型モビリティは、返却時にスタッフが座席等を消毒
- 小型モビリティ、EV カートの車内にアルコール消毒液を設置
- EV カートは、利用客の入れ替え時に乗務員が手すりやハンドル、座席等を消毒

２）スタッフの感染防止対策

- 出勤時、必ず検温を実施
- 発熱や風の症状がある（体温が 37.5 度以上ある）場合は出勤しない
- 体調が悪くなった場合についても、必要に応じ、直ちに帰宅
- 自宅で療養することとなったスタッフは、毎日、健康状態を確認
- 症状に改善が見られない場合は、医師や保健所への相談を行う
- 通勤時、出勤中は、常時マスクを着用し、定期的に手洗いまたは手指を消毒
- 利用者と接触する際は、一定の距離（できるだけ２m、最低１m）を確保
- 会話は可能な限り真正面を避ける
- ゴミはこまめに回収し、鼻水や唾液などがついたゴミがある場合はビニール袋に密閉
- ゴミの回収など清掃作業を行う従業員は、マスクや手袋を着用、作業後に手洗い。

３）利用者への感染防止対策

- 小型モビリティ、ゴルフカートの利用者へ利用前に検温を行い、発熱や風邪の症状がある（体温が 37.5 度以上ある）方の利用はお断りする（予約時に事前に案内）。
- 可能な限り、マスク着用、アルコール消毒及び会話を控えめにすることの協力を呼び掛ける（予約時、車内）。

《参考とした感染防止対策ガイドライン》

- 南城市新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（令和２年７月）
- タクシーにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（第２版）
- 自動車リース事業者における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（2020 年７月３日）

（４）利用者特典の検討

本実証期間中、各モビリティの利用促進およびモビリティ利用者に周遊や消費を促すことを目的として、市内関係者協力のもと以下の各種利用者特典を実施した。

なお、利用者特典については、ランディングページや SNS にて発信を行い、周知を図った。

表 12　実施した利用者特典の一覧

目的	特典種類	対象者	プレゼント内容
モビリティの利用を促進	①モビリティ利用者特典	おきなわワールド入場者	オリジナルポストカードをプレゼント
		ガンガラーの谷 ガイドツアー利用者	オリジナルポストカードをプレゼント
		天然温泉「猿人の湯」利用者	通常入浴料から割引価格で利用可能
		Café やぶさち 利用者	アイスクリームをプレゼント
	②地域内消費者特典	３か所以上かつ3,000円以上の購入者	なんじぃグッズ等をプレゼント
		３か所以上かつ8,000円以上の購入者	上記に加え５組10名にペア宿泊券の抽選
モビリティの利用者に周遊や消費	③南城市内宿泊者特典	市内宿泊者	小型モビリティ、レンタサイクル、シャトルバスを無料、予約なしで利用可能
	④Instagram 投稿者特典	Instagram 投稿者	なんじぃグッズ等をプレゼント

■公開した利用特典情報（1/3）

沖縄・南城 スローモビリティ

楽しむほどおトク！利用特典情報

「① モビリティを利用され南城市内を観光された方へのおトクな特典や割引」や「② 一定額以上のお買い物・お食事をされた方への特典」で楽しむほどおトクに。また「③ 南城市内にご宿泊された方はレンタル代が無料！」、「④ インスタ投稿で人気のなんじぃグッズ等プレゼント」。

※本特典内容は令和 2 年 12 月 27 日までとなります。また特典内容や利用条件は変更となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

①モビリティ利用者特典

対象となるモビリティを利用され南城市内を観光された方へのおトクな特典や割引。

名　称	特 典 内 容
おきなわワールド 入場者特典	おきなわワールド入場券を購入したお客様１名につきオリジナルポストカード１枚をプレゼント。※他の特典との併用不可 （引き換え場所：おきなわワールド券売場）
☞ 施設 WEB ページ ： https://www.gyokusendo.co.jp/okinawaworld/	
ガンガラーの谷 ガイドツアー利用者特典	ガンガラーの谷ガイドツアーご利用で参加者１名につきオリジナルポストカード（がじゅまる）１枚プレゼント。※ガイドツアー参加には事前のご予約が必要です。 （引き換え場所：ガンガラーの谷 ケイブカフェ）
☞ 施設 WEB ページ ： https://gangala.com/	
天然温泉「猿人の湯」 利用割引	通常価格 1,650 円の入浴料のところ、1,250 円（バスタオル、フェイスタオル付）の割引価格で利用可能。
☞ 施設 WEB ページ ： https://www.yuinchi.jp/hotspring/	

【特典対象者】
◇レンタサイクル（電動アシスト自転車、折りたたみ自転車）、小型モビリティレンタル、N バス 1 日乗車券をご利用の方。
【特典受取方法】
◇各施設にてモビリティの利用を証明する予約メールやチケット等を確認します。
【利用条件】
◇原則モビリティを利用した日が対象。ただし市内宿泊者はモビリティ利用日を含む滞在期間中の利用も可。
◇特典の受領は１施設につき１人１回まで（同じ特典を複数回受領することはできません）。

■公開した利用特典情報（2/3）

②モビリティを利用して南城市内でお買い物・お食事・観光された方への特典

対象となるモビリティを利用して、南城市内の飲食店や買い物施設、観光施設にて、一定金額のご購入をされた方に、なんじぃグッズ、ペア宿泊抽選券をプレゼント！

区　分	特 典 内 容
南城市内で 3 か所以上かつ 3,000 円以上 の買い物や飲食、体験をされた方	人気の南城市ゆるキャラ「なんじぃ」グッズ等プレゼント（キーホルダー等） ※いくつかの景品からお選びいただけます 
南城市内で 3 か所以上かつ 8,000 円以上 の買い物や飲食、体験をされた方	上記に加え、抽選で 5 組 10 名様に南城市内宿泊施設（ユインチホテル南城）のペア宿泊券プレゼント 

【特典対象者】
◇レンタサイクル（電動アシスト自転車、折りたたみ自転車）、小型モビリティレンタル、N バス 1 日乗車券をご利用の方。EV カートをご利用の方。

【対象となる購入施設】
◇南城市内の飲食店や買い物施設、観光施設等での購入であれば原則すべて対象。ただし宿泊費は対象外。

【特典受取方法】
◇南城市役所およびがんじゅう駅・南城のモビリティのレンタルカウンター（10 時～18 時）
◇モビリティの利用を証明する予約メールやチケット等を確認します。また、購入を証明するレシートや決済画面（スマホ）等を確認します。購入を証明するレシート等がない場合、特典を受け取ることはできません。
◇ペア宿泊券の抽選は令和 3 年 1 月を予定（当選者にのみご連絡いたします。）。発送より半年有効。

【利用条件】
◇原則モビリティを利用した日が対象。ただし市内宿泊者はモビリティ利用日を含む滞在期間中の購入も含む。Go To トラベルの地域共通クーポンでのご購入も可。
◇特典の受領は 1 人 1 回まで（複数回受領することはできません）。

■公開した利用特典情報（3/3）

③南城市内宿泊者特典

◆南城市内の対象の宿泊施設にご宿泊の方は、レンタサイクル（500 円/日。電動アシスト自転車、折りたたみ自転車ともに可）、小型モビリティレンタル（1,500 円/日）が無料でご利用できます。

◆空港―南城市間のシャトルバスを予約なしでご利用いただけます（満席の場合を除く）。

【対象宿泊施設】
◇海坐　◇朝陽の宿 涼風（しだかじ）　◇ユインチホテル南城　◇KafuwaNanjo

【特典受取方法】
◇レンタサイクル、小型モビリティの予約時に WEB フォームに従い、宿泊施設名、チェックイン日、チェックアウト日を入力いただくと、利用後、システムで返金処理いたします。
◇シャトルバスのご利用時には、宿泊を証明する予約メールや領収書等を確認します。

【利用条件】
◇10/26-12/27 の期間で対象施設に宿泊した方について、チェックインからチェックアウト日までの間ご利用可。
◇モビリティに空きがない場合はご利用いただけません。モビリティに空きがある場合、利用人数、利用日数の制限なくご利用いただけます。

④Instagram の投稿者特典

◆Instagram にて「#南城スローモビリティ」のハッシュタグを含めて投稿をいただいた方に、人気の南城市ゆるキャラ「なんじぃ」グッズ等プレゼント！





【特典受取方法】
◇南城市役所およびがんじゅう駅・南城のモビリティのレンタルカウンター（10 時～18 時）。
◇「#南城スローモビリティ」を含む投稿画面を確認します。

【利用条件】
◇特典の受領は 1 人 1 回まで。

（５）予約システムの構築

予約・決済について、オンラインでの予約・決済を基本とし、窓口を設けた南城市役所、がんじゅう駅・南城では窓口（現金）での予約・決済も可とした。

本実証調査では、予約システムサービスの「クービック」を利用し、予約ページを作成した。以下に、サービス利用全体の流れを示しており、図中の赤枠の予約・決済箇所がシステム（クービック）にて構築した箇所となる。

次頁以降に構築システムでの利用者の予約画面を記載する。

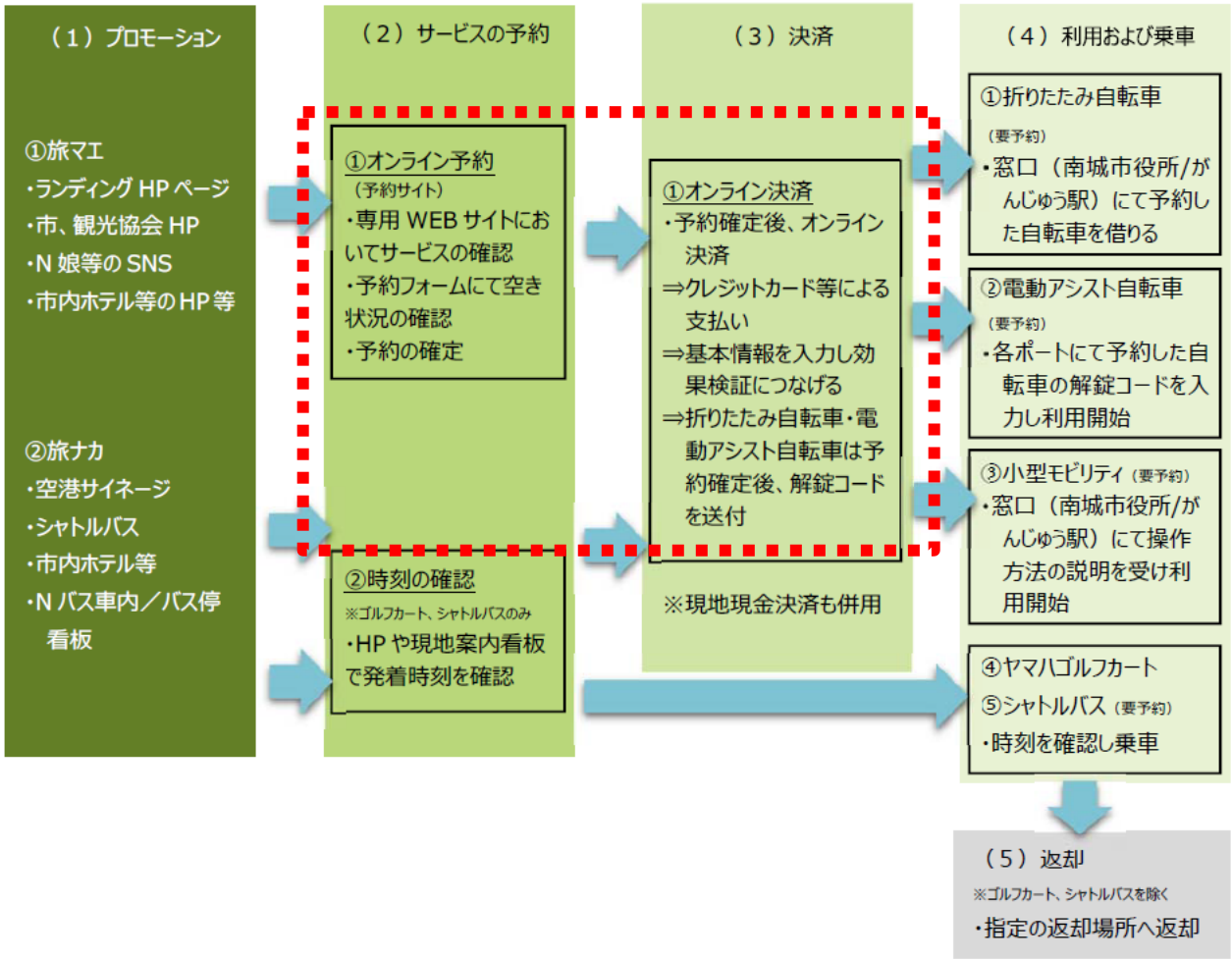


図 3 サービス利用の流れ（赤枠箇所が予約・決済システムに係る箇所）

■構築した予約システムでの予約画面



図 4 構築した予約システムでの予約画面

２．２　実証調査の実施

（１）実証調査の実施概況

本実証調査の実施概況は以下の通り。

１）整備した拠点の様子

本実証調査において、整備した各貸渡拠点の様子は以下の通り。

①南城市役所

表　13　南城市役所の拠点概要

導入したモビリティ	・折りたたみ自転車　　４台 ・日産小型モビリティ　３台
最寄りバス停	・南城市役所
提供サービス	・モビリティ設置場所、貸渡機能 ・大型手荷物預かりサービス
貸渡場所	・南城市バス案内所横



図　5　南城市役所の拠点概要・貸渡の様子

②がんじゅう駅・南城

表 14　がんじゅう駅・南城の拠点概要

導入したモビリティ	・折りたたみ自転車　　４台 ・電動アシスト自転車　４台 （観光協会の既存のもの） ・小型モビリティ　　３台
最寄りバス停	・斎場御嶽入口
提供サービス	・モビリティ設置場所、貸渡機能 ・有料コインロッカー （※南城市観光協会が提供する既存のサービス）
貸渡場所	・交流センター協会内窓口





図 6　がんじゅう駅・南城の拠点概要・貸渡の様子

③新原ビーチ付近

表 15　新原ビーチの拠点概要

導入したモビリティ	・電動アシスト自転車　４台 ・EV カート（発着所）
最寄りバス停	・新原ビーチ
提供サービス	・モビリティ設置 ・EV カート発着所案内・待合機能
貸渡場所	・バス停横



図 7　新原ビーチの拠点概要・貸渡の様子

④奥武島いまいゆ市場

表 16　奥武島いまいゆ市場の拠点概要

導入したモビリティ	・電動アシスト自転車　４台 ・EV カート（発着所）
最寄りバス停	・奥武島
提供サービス	・モビリティ設置 ・EV カート発着所案内・待合機能
貸渡場所	・いまいゆ市場



図 8　奥武島いまいゆ市場の拠点概要・貸渡の様子

２）各モビリティの利用の様子

本実証調査における各モビリティの利用の様子は以下の通り。

①小型モビリティ



図 9　小型モビリティの利用の様子

②折りたたみ自転車

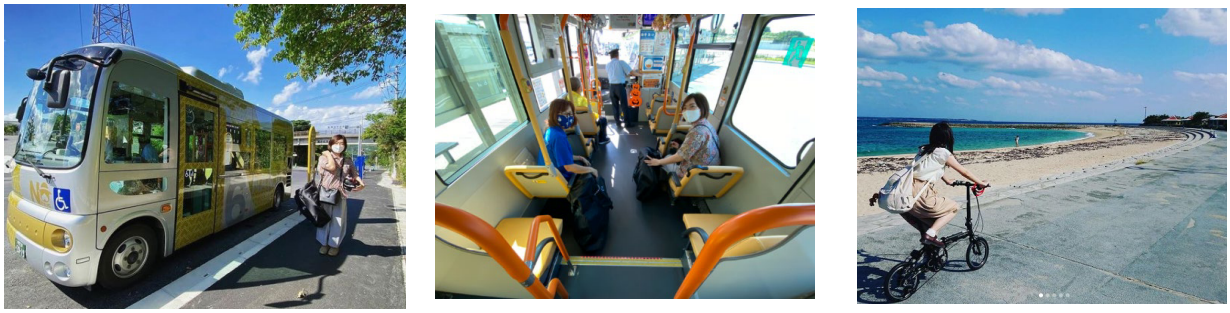


図 10　折りたたみ自転車の利用の様子

③電動アシスト自転車



図 11　電動アシスト自転車の利用の様子

④EV カート





図 12　EV カートの利用の様子

⑤シャトルバス






図 13　シャトルバスの運行の様子

（２）モビリティ等の利用実績

本実証調査における各モビリティの利用実績は以下の通り。

１）モビリティの利用者数

本実証の利用者数は延べ 1,293 人であった。

モビリティ別では、小型モビリティが 258 人、折り畳み自転車が 38 人、電動アシスト自転車が 78 人、EV カートが 919 人であった。

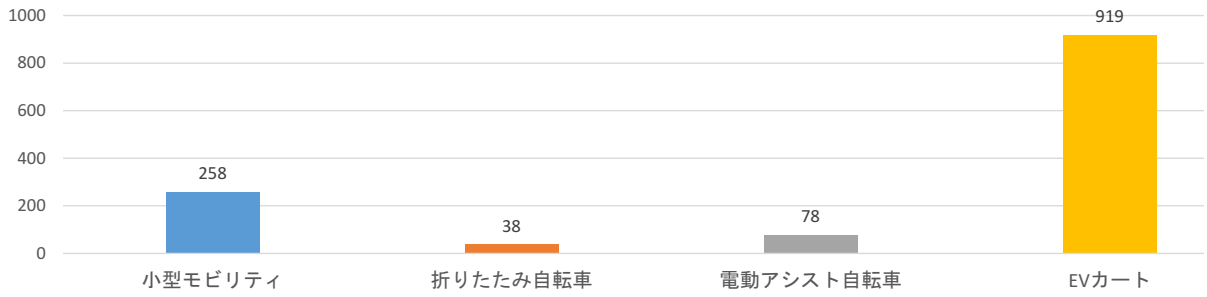


図 14　モビリティごとの利用者数（人）

２）モビリティの利用率

モビリティの利用率については、小型モビリティが台数ベースで 43.7%、折り畳み自転車は 7.5%、電動アシスト自転車は 10.3%。EV カートについては、定員に対する乗車率としての計算で 30.9%であった。

表 17　モビリティごとの利用率

（期間：10月26日～12月27日）

		A：期間中の利用数（台･人）	B：期間中の受入れ可能容量	利用率（A/B）
①小型モビリティ（台数）	市役所（3台）	115台	189台	**60.8%**
	がんじゅう駅（3台）	50台	189台	**26.5%**
	計	165台	378台	**43.7%**
②折りたたみ自転車（台数）	市役所（4台）	34台	252台	**13.5%**
	がんじゅう駅（4台）	4台	252台	**1.6%**
	計	38台	504台	**7.5%**
③電動アシスト自転車（台数）	がんじゅう駅（4台）	29台	252台	**11.5%**
	新原ビーチ（4台）	25台	252台	**9.9%**
	奥武島（4台）	24台	252台	**9.5%**
	計	78台	756台	**10.3%**
④EVカート（人数）	奥武島-ﾔﾊﾗﾂﾞｶｻ（1日15便）	663人	2,550人	**26.0%**
	奥武島1周	256人	420人	**61.0%**
	計	919人	2,970人	**30.9%**

※期間中の受入れ可能容量の考え方：①、②、③は63日間実施のため、日数に設置台数を乗じることで算出。④は運行便数に定員を乗じることで算出。

３）空港シャトルの利用者数

空港シャトルの利用者数（乗車人数）は延べ 170 人であった。方面別では南城市役所行が 91 人、那覇空港行が 79 人であった。

便別では、２便（10：05 発）市役所行の利用が最も多く 46 人であった。次いで査収の７便（17：30 発）那覇空港行が多く 36 名の利用であった。

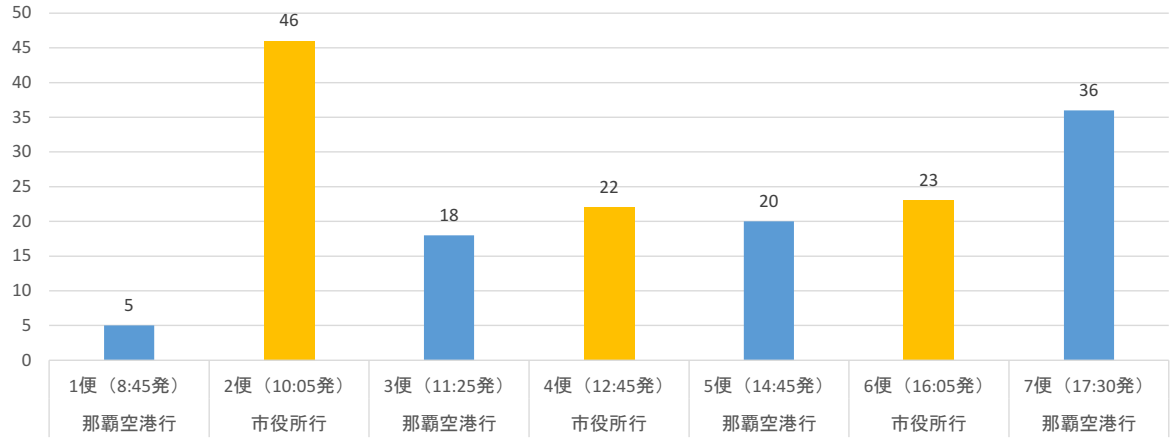


図 15　空港シャトルの便別の利用者数（人）

４）モビリティ利用者への特典の利用状況

本実証調査における特典の利用実績は、全体で 285 件であった。

各特典の利用実績は以下の通り。

表 18　利用者特典の利用実績

特典種類		件数	
①モビリティ利用者特典	おきなわワールド入場者特典（オリジナルポストカードをプレゼント）	2件	33件
	ガンガラーの谷　ガイドツアー利用者特典（オリジナルポストカードをプレゼント）	4件	
	天然温泉「猿人の湯」利用割引（通常入浴料から割引価格で利用可能）	15件	
	Café やぶさち（アイスクリームをプレゼント）	12件	
②地域内消費者特典	3 か所以上かつ3,000円以上（なんじぃグッズ等をプレゼント）	59件	81件
	3 か所以上かつ8,000円以上（上記に加え5組10名にペア宿泊券の抽選）	22件	
③南城市内宿泊者特典（宿泊者は、小型モビ、レンタサイクル、シャトルバスを無料、予約なしで利用可能）			73件
④Instagram投稿者特典（なんじぃグッズ等をプレゼント）			98件
合　計			**285件**

５）南城市役所における手荷物預かりの実績

南城市役所における実証期間中の手荷物預かりは 17 件であった。

曜日別では、月曜～木曜が 35.3%（6 件）、金曜が 17.6%（3 件）、土曜が 23.5%（4 件）、日曜・祝日が 23.5%であった。

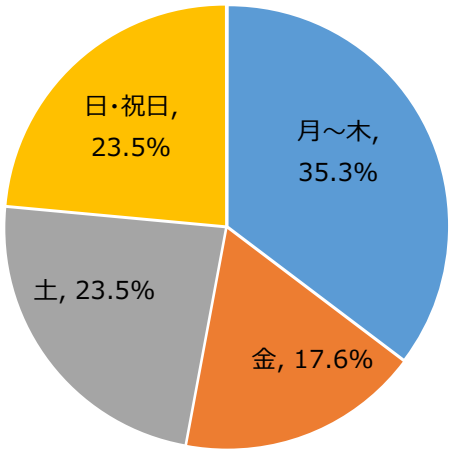


図 16　曜日別の手荷物預かりの割合（17 件）

（３）利用者アンケートの実施

本事業における実証実験の利用実態、利用者の満足度等を把握し、モビリティ導入の効果・課題を整理、実証実験後の運行方法や運行体制等の継続スキームを検討することを目的として、利用者アンケート調査を実施した。

１）調査概要

以下に調査の概要を示す。

表 19　実施概要

調査対象	＊本事業におけるモビリティの利用者
調査方法	＊レンタサイクル、小型モビリティ、シャトルバスの利用者 ⇒サービス利用日翌日にアンケートへの回答依頼と回答ページへの URL をメールで配信 ⇒モビリティ返却時/降車時にスタッフが利用者に対し、WEB アンケートの導線となる QR コードを掲載した名刺サイズのカードを配布し、回答を依頼 ＊EV カートの利用者 ⇒利用者降車時にドライバーが、WEB アンケートの QR コードを掲載した名刺サイズのカードを配布し、回答を依頼
調査時期	＊実証期間中（令和 2 年 10 月 26 日～12 月 27 日）
調査項目	＊基本属性（性別・年代・居住地） ＊旅程について（来訪経験・旅の同行者・宿泊数・立寄先・消費額） ＊本サービスを選んだ理由 ＊本サービスを知ったタイミング、きっかけ ＊利用したモビリティについて（モビリティの種類） ＊本サービス（予約方法や利用方法）の利便性に対する評価 ＊価格の妥当性、適正価格について ＊本サービスに対する総合的な満足度 ＊本サービスの利用意欲 ＊本サービスに対する感想
サンプル数	計 227 サンプル （市内：42 サンプル、市外：116 サンプル、県外：69 サンプル） ※11 月に調査項目を一部変更しており、変更前は 34 サンプル、変更後は 193 サンプルとなっている。

２）調査内容

以下に調査内容を示す。

表 20　調査内容（1/5）

No	設問内容	回答方法	選択肢
1	年齢	SA	10 代、20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上
2	性別	SA	男性、女性
3	居住地	SA	都道府県、市町村
4	沖縄県への来訪経験	SA	はじめて、２回目、３回目、４回目、5～9 回目、10 回以上
5	南城市への来訪経験	SA	はじめて、２回目、３回目、４回目、5～9 回目、10 回以上
6	今回の旅行の同行者の人数	SA	１人、２人、３人、４人、５人、６人、７人、８人、９人、10 人、11 人、12 人、13 人、14 人、15 人、16 人、17 人、18 人、19 人、20 人
7	今回の旅行の同行者とのご関係	SA	自分ひとり、夫婦２人、恋人、子連れ家族、三世代家族、その他家族、友人・知人、同好会・サークル、仕事仲間、その他
8	今回の旅行の滞在日数（旅行全体）	SA	日帰り、２日（１泊２日）、３日（２泊３日）、４日（３泊４日）、５日以上
9	今回の旅行の滞在日数（南城市内）	SA	日帰り、２日（１泊２日）、３日（２泊３日）、４日（３泊４日）、５日以上
10	今回の南城市への来訪目的	MA	観光地巡り 景色・景観 買い物 美味しいものを食べる 保養・休養 温泉 森林散策などの自然体験 海水浴・ダイビング等マリンスポーツ イベント・伝統行事 地域の人とのふれあい 業務・出張 ドライブを楽しむ（小型モビリティ） ドライブを楽しむ（小型モビリティ以外） サイクリングを楽しむ EV カートを楽しむ その他

※SA:単一回答、MA:複数回答、FA:自由回答

表 21　調査内容（2/5）

No	設問内容	回答方法	選択肢
11	今回、南城市内で具体的に立寄った場所	MA	斎場御嶽、久高島、奥武島、糸数アブラチラガマ、垣花樋川・仲村渠樋川、受水・走水、あざまサンサンビーチ、新原ビーチ、百名ビーチ、コマカ島、おきなわワールド（ガンガラーの谷）、カフェ・レストラン、がんじゅう駅南城、知念岬公園、農産物直売所、その他
12	今回の南城市への旅行で GoTo トラベルキャンペーンを利用したか	SA	利用した、利用しなかった
13	どのような場面で GoTo トラベルを利用したか	MA	宿泊費 宿泊セットプラン（宿泊費+交通費等） 日帰りセットプラン（交通費+アクティビティ代等） 地域共通クーポン
14	南城市内で使用した地域共通クーポンはいくらか	FA	
15	今回の旅行中、同行者を含めたグループ全体の南城市での消費額 ①宿泊費 ※Go To トラベル利用者は適用後の金額 ②交通費（レンタサイクルおよび小型モビリティレンタル、その他、レンタカー・タクシー・船・ガソリン代など） ③食事・お酒 ④おみやげ・買い物 ⑤レジャー・体験 ⑥その他	FA	
16	モビリティやシャトルバスがあったことで南城市内での訪問箇所や滞在時間、消費（飲食や観光体験、買物等の購入）は増えたか	SA	増えた、やや増えた、変わらない、やや減った、減った

※SA:単一回答、MA:複数回答、FA:自由回答

表 22　調査内容（3/5）

No	設問内容	回答方法	選択肢
17	本サービスを利用した理由	MA	行きたい場所を訪問するのに便利だと思った 多くの場所を観光できると思った 楽しそうだと感じた 良い景色が楽しめると思った ゆっくり観光できると思った 地元の方とのふれあいがあると思った モビリティ自体に興味があった 健康的に観光できると思った 環境にやさしい移動手段だから 料金がやすかった／無料で利用できた 車を運転したくなかった／運転免許を持っていない その他
18	本サービスをどこで知ったか	MA	WEB サイト（検索、リンク等） SNS やネット記事 友人・知人からの紹介 ちゅらとくからの案内 たびらいからの案内 市報、那覇空港での表示（デジタルサイネージ） 観光案内所での案内 ホテルや観光施設 飲食店等での案内（ポスターやリーフレット等） モビリティや看板がおいてあるのを見て（市役所、がんじゅう駅、新原ビーチ、いまいゆ市場） その他
19	モビリティやシャトルバスがあったことで南城市の来訪意欲は高まったか	SA	高まった（南城市を訪れる予定はなかった、もしくは迷っていたが、決め手となった） 高まった（もともと南城市を訪れるつもりであったが、楽しみが増えた） 高まった（上記以外） 変わらない、南城市に来る前には知らなかったのでわからない その他
20	利用したモビリティ	MA	折りたたみ自転車、電動アシスト自転車、小型モビリティ、EV カート、シャトルバス、N バス

※SA:単一回答、MA:複数回答、FA:自由回答

表 23　調査内容（4/5）

No	設問内容	回答方法	選択肢
21	本サービスの予約方法はわかりやすかったか	SA	折りたたみ自転車 （わかりやすかった、普通、わかり難かった） 電動アシスト自電車 （わかりやすかった、普通、わかり難かった） 小型モビリティ （わかりやすかった、普通、わかり難かった） シャトルバス （わかりやすかった、普通、わかり難かった）
22	本サービスの利用方法に関する案内はわかりやすかったか	SA	折りたたみ自転車 （わかりやすかった、普通、わかり難かった） 電動アシスト自電車 （わかりやすかった、普通、わかり難かった） 小型モビリティ （わかりやすかった、普通、わかり難かった） シャトルバス （わかりやすかった、普通、わかり難かった）
23	本サービスの料金は妥当だったか	SA	折りたたみ自転車(1 台 500 円/1 日) （安い、妥当、高い） 電動アシスト自電車(1 台 500 円/1 日) （安い、妥当、高い） 小型モビリティ(1 台 1,500 円/1 日) （安い、妥当、高い）
24	本サービスについて、いくらであれば妥当か	FA	折りたたみ自転車（1 台あたり） 電動アシスト自転車（1 台あたり） 小型モビリティ（1 台あたり）
25	EV カートについて、本サービスを有料化する場合いくらであれば妥当か	FA	大人 1 人あたりの料金
26	シャトルバスについて、本サービスを有料化する場合いくらであれば妥当か	FA	那覇空港・那覇から南城まで大人 1 人あたりの片道料金
27	本サービスに対する総合的な満足度	SA	折りたたみ自転車 （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満） 電動アシスト自転車 （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満） 小型モビリティ （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満） EV カート （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満） シャトルバス （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満） N バス （大変満足、やや満足、やや不満、大変不満）

※SA:単一回答、MA:複数回答、FA:自由回答

表 24　調査内容（5/5）

No	設問内容	回答方法	選択肢
28	今回の南城市滞在の満足度	SA	大変満足、やや満足、やや不満、大変不満
29	今回ご利用のモビリティやシャトルバスがあったことで南城市滞在の満足度は向上したか	SA	大変満足、やや満足、やや不満、大変不満
30	本格導入した場合、今後も利用したいか	SA	ぜひ使いたい、機会があれば使いたい、あまり使いたくない、使いたくない
31	本サービスを友人や知人に勧めたいか	SA	ぜひ使いたい、機会があれば使いたい、あまり使いたくない、使いたくない

※SA:単一回答、MA:複数回答、FA:自由回答

３）実施結果

以下に調査の実施結果を示す。

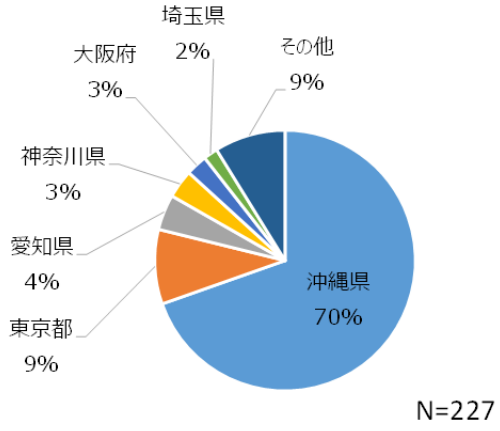
①利用者の基本属性

【居住地】

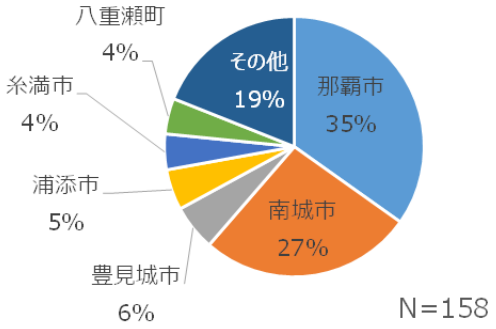
◆居住地について、「沖縄県」が最も多く70%となっている。次いで、「東京都」「愛知県」「神奈川県」など主要都市圏からの来訪が多い。

◆県内は、「那覇市（35%）」「南城市（27%）」からの来訪が多い。

▼全体（都道府県）



▼県内（市町村）



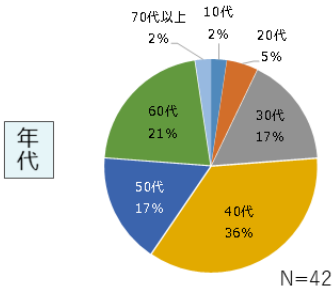
①利用者の基本属性

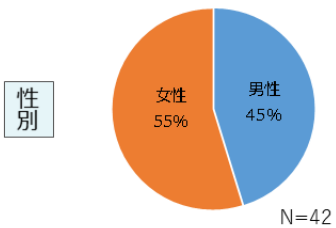
【年齢・性別】

◆県内は30代～40代が半数を占めており、県外では50代以上が半数を占めている。

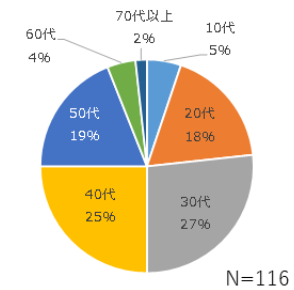
◆県内は女性が多く（55%程度）、県外は男性が多い（55%）。

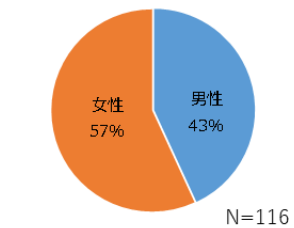
▼南城市内



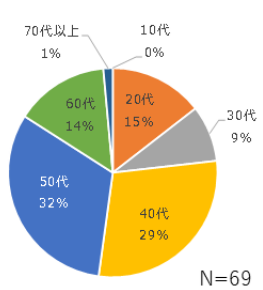


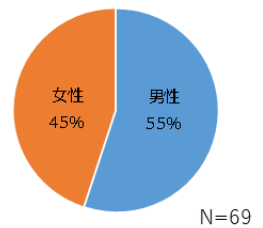
▼南城市外（県内）





▼県外



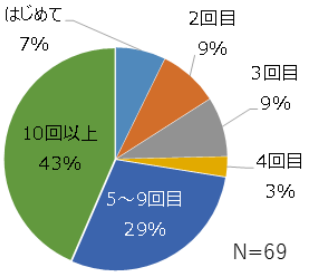


①利用者の基本属性

【沖縄県への来訪回数】

◆沖縄県への来訪回数は、10回以上（43%）が最も多く、次いで5～9回目（29%）と多い。

▼県外

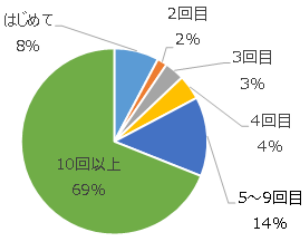


N=69

【南城市への来訪回数】

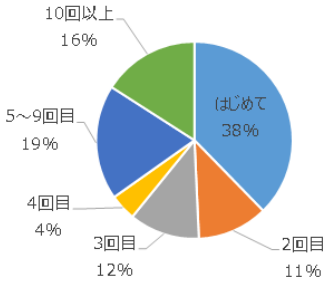
◆南城市外（県内）は10回以上（69%）が半数以上を占めており、県外ははじめて（38%）が多い。

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



N=69

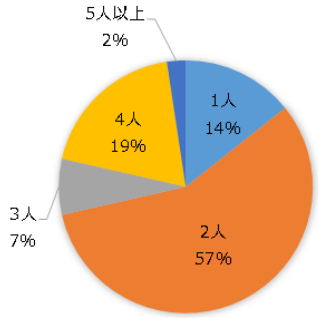
①利用者の基本属性

【同行者の人数】

◆南城市内、市外（県内）ともに2人が最も多く、次いで4人が多い。

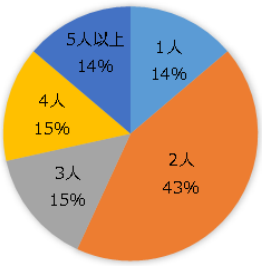
◆県外は、2人（41%）が最も多く、次いで1人（35%）が多い。

▼南城市内



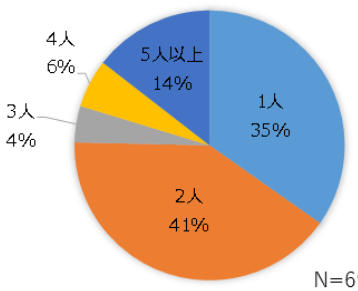
N=42

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



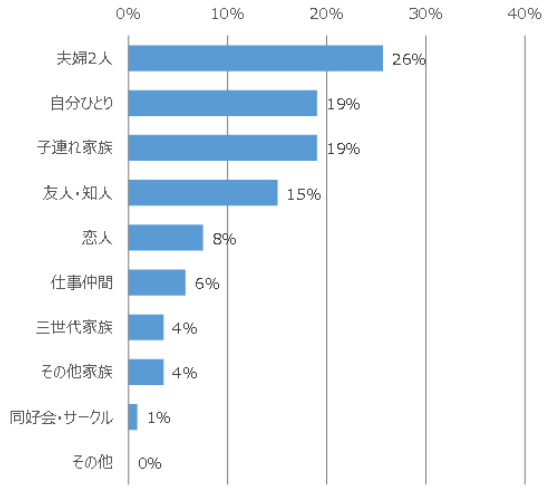
N=69

①利用者の基本属性

【同行者との関係性】

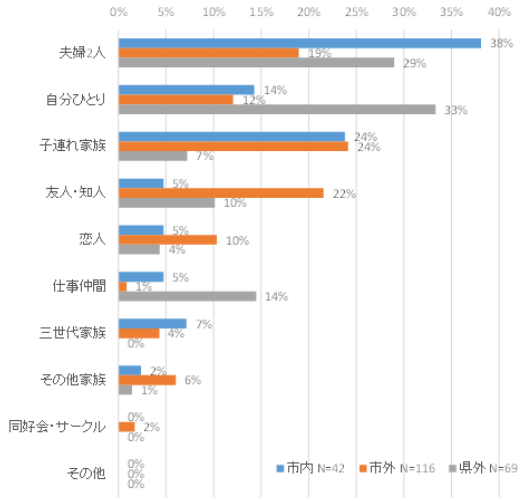
◆南城市内は、夫婦2人（38%）が最も多く、次いで子連れ家族（24%）が多い。
◆南城市外（県内）は、子連れ家族（24%）が最も多く、次いで友人・知人（22%）が多い。
◆県外は、自分ひとり（33%）が最も多く、夫婦2人（29%）が多い。

▼全体



N=227

▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外

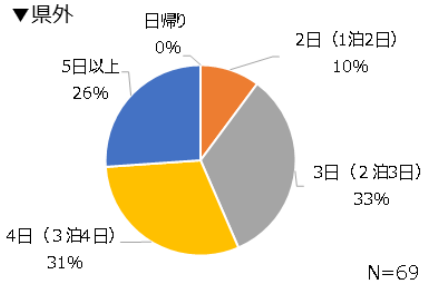


②今回の旅行について

【今回の旅行の滞在日数】

◆今回の旅行の滞在日数は、3日（33%）が最も多く、次いで4日（31%）と多い。

▼県外

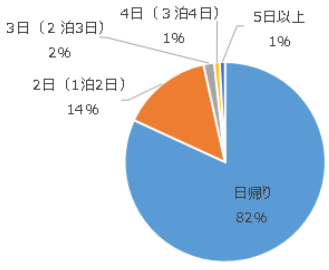


N=69

【南城市内の滞在日数】

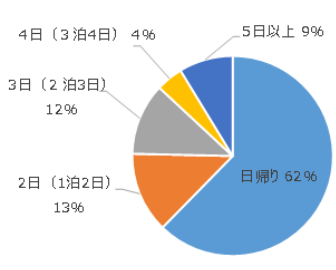
◆南城市外（県内）は日帰り（82%）が半数以上を占めており、県外も日帰り（62%）が多い。

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



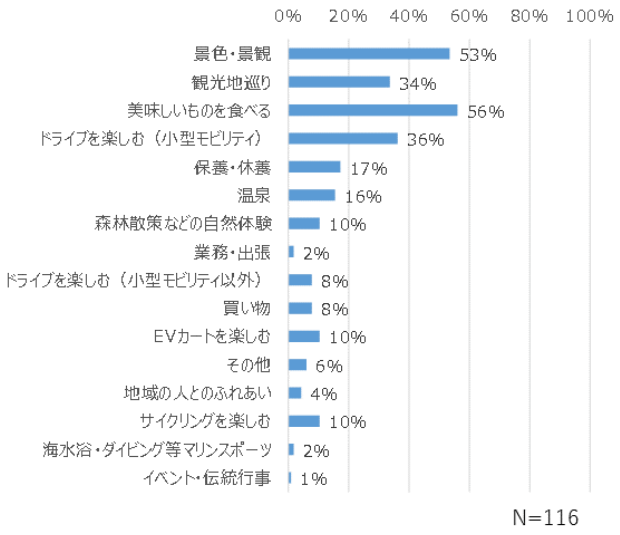
N=69

②今回の旅行について

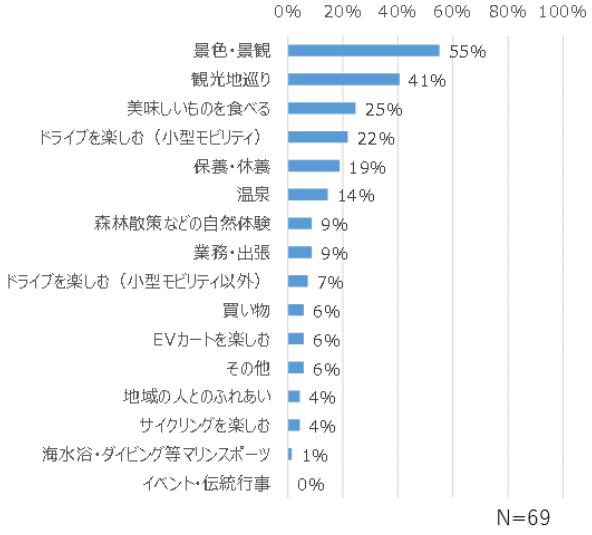
【南城市の来訪目的】

◆南城市外（県内）の来訪目的は、美味しいものを食べる（56%）が最も多く、次いで景色・景観（53%）が多い。
◆県外は、景色・景観（55%）が最も多く、次いで観光地巡り（41%）と多い。

▼南城市外（県内）



▼県外

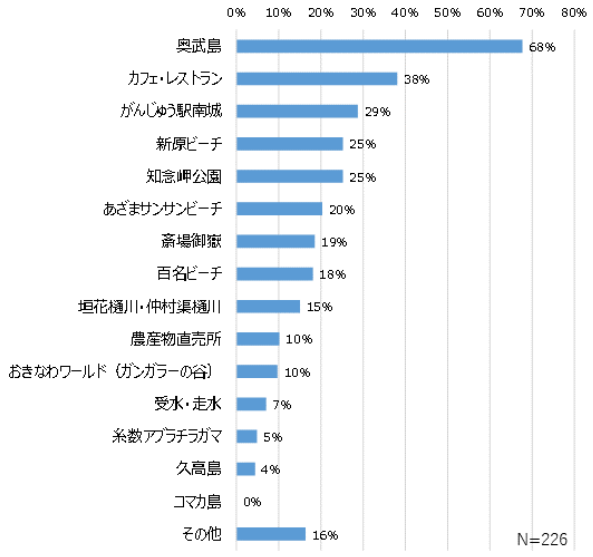


②今回の旅行について

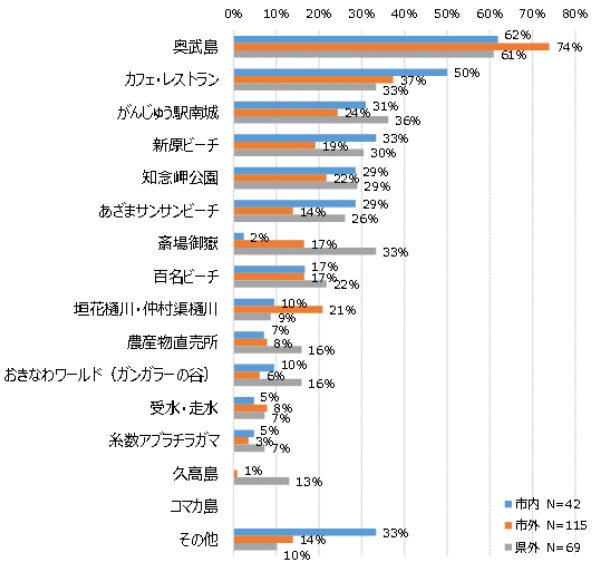
【南城市内で具体的に立寄った場所】

◆ 南城市内では、奥武島（62%）、次いでカフェ・レストラン（50%）が多い。
◆ 市外（県内）でも、奥武島（74%）、次いでカフェ・レストラン（37%）が多い。
◆ 県外は、奥武島（61%）、がんじゅう駅南城（36%）、斎場御嶽（33%）が多い

▼全体



▼居住地別：南城市内、南城市外（県内）、県外

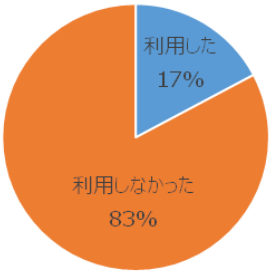


②今回の旅行について

【今回の南城市への旅行におけるGo To トラベルの利用の有無】

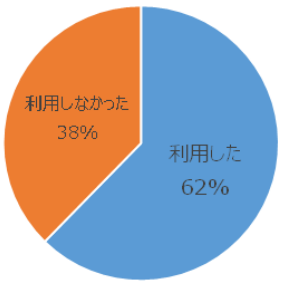
◆南城市外（県内）は、利用しなかった（83%）、利用した（17%）となった。
◆県外は、利用した（62%）、利用しなかった（38%）となった。

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



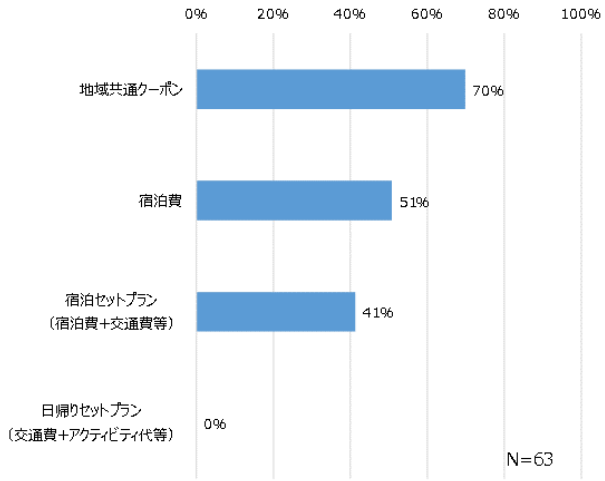
N=69

②今回の旅行について

【今回の南城市への旅行におけるGo To トラベルの利用内容】

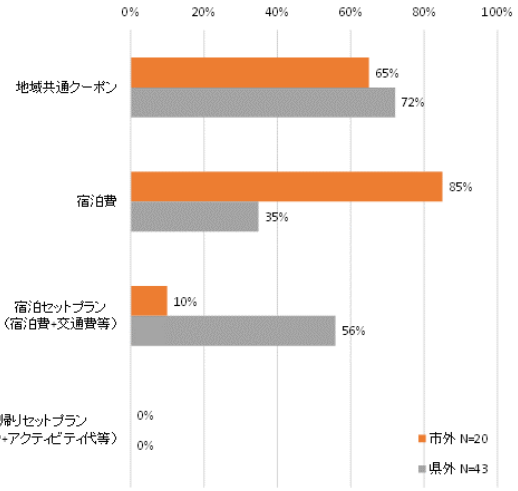
◆ 南城市外（県内）は、宿泊費（85%）が最も多く、次いで地域共通クーポン（65%）と多い。
◆ 県外は、地域共通クーポン（72%）が最も多く、次いで宿泊セットプラン（56%）が多い。

▼全体



N=63

▼南城市外（県内）、県外



③今回の旅行における消費額について

【南城市における一人あたりの消費額】 ※市外、県外

◆県内客の合計金額は4,445円、県外客は18,505円である。
◆県外客の合計金額について、平成28年度の来訪者調査結果と比較すると、5,787円増加している。

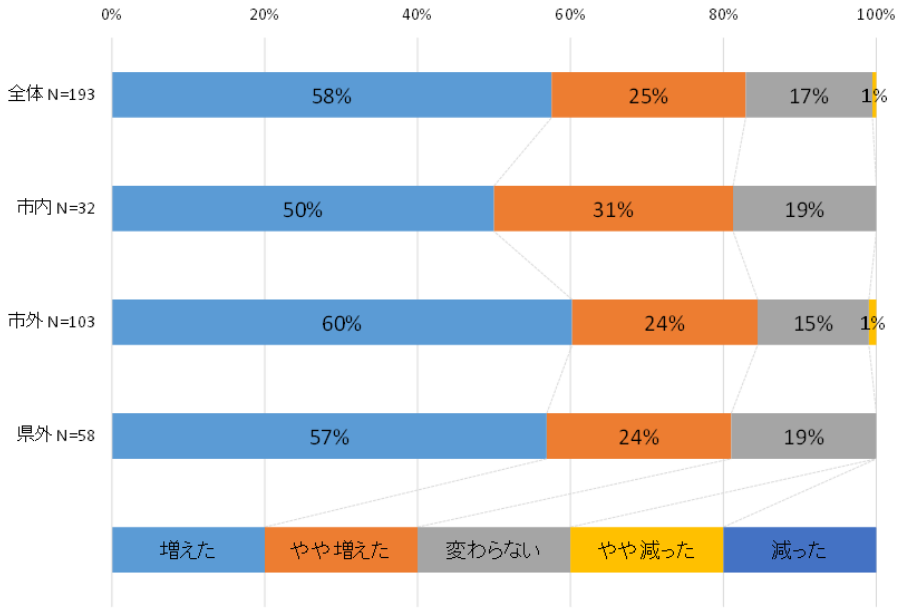
項目	県内客(市外) N=87	県外客 N=57	参考:平成28年度(県内客)	参考:平成28年度(県外客)
宿泊費	1,121円	7,003円	3,098円	3,191円
交通費	632円	2,835円	414円	1,417円
食事・お酒	1,644円	3,453円	1,245円	3,755円
お土産・買い物	607円	2,528円	573円	2,900円
レジャー・体験	264円	835円	594円	1,262円
その他	177円	1,851円	207円	193円
合計金額	4,445円	18,505円	6,131円	12,718円

※宿泊費については、GoTo トラベルキャンペーン適用後の料金となっている。
※地域共通クーポンで支払った金額も含めた金額となっている。
※合計金額については、いずれかの項目で回答があったサンプルを対象とし、平均値を算出している。

④実証による南城観光への影響・効果について

【モビリティによる南城市内での訪問箇所数への影響】

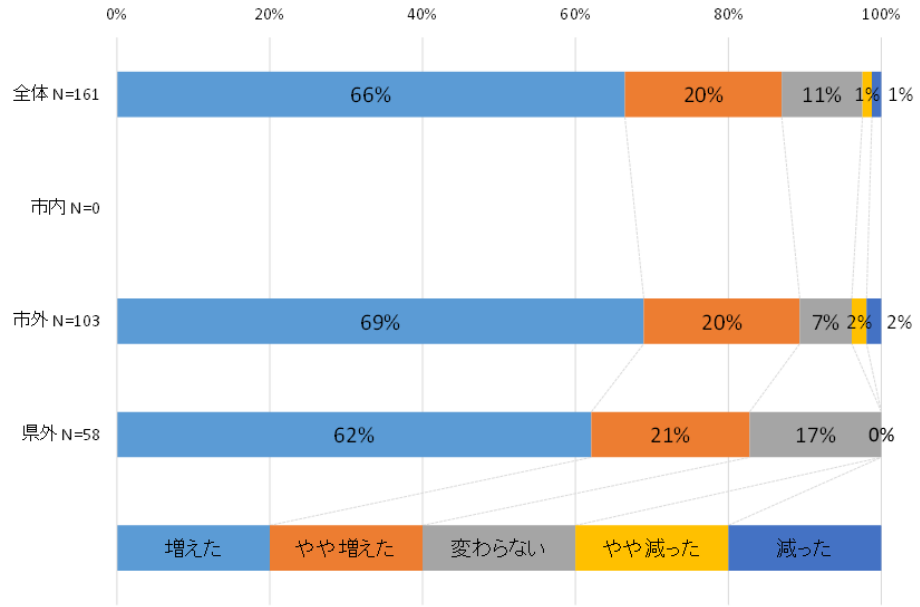
◆80%程度の回答者が、モビリティの利用により、訪問箇所が「増加した」または「やや増加した」と回答している。



④実証による南城観光への影響・効果について

【モビリティによる南城市内での滞在時間への影響】

◆80%程度の回答者が、モビリティの利用により滞在時間が「増加した」または「やや増加した」と回答している。

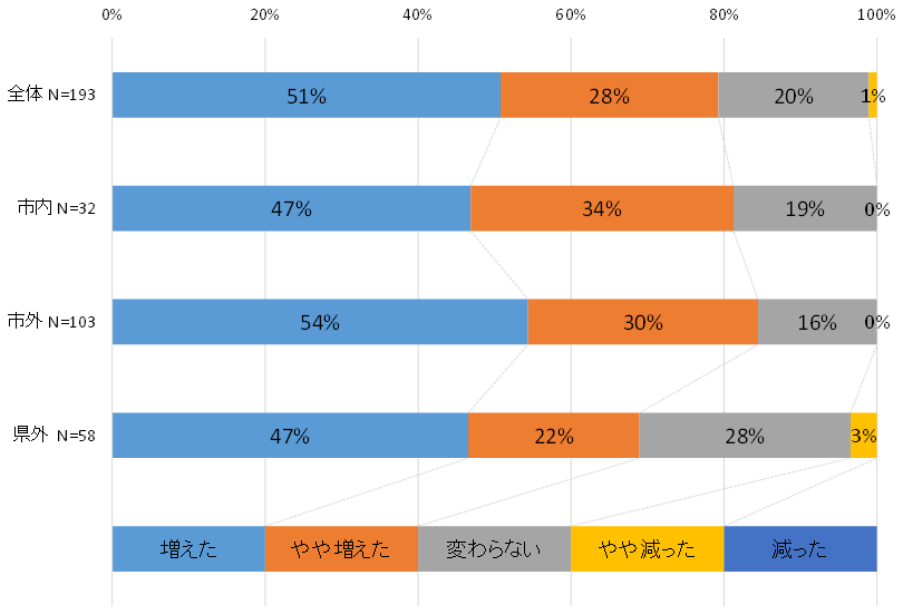


④実証による南城観光への影響・効果について

【モビリティによる南城市内での南城市内での消費（飲食や観光体験、買物等の購入）への影響】

◆県内は、80%程度の回答者が、モビリティの利用により消費が「増加した」または「やや増加した」と回答している。

◆県外は、70%程度の回答者が、モビリティの利用により消費が「増加した」または「やや増加した」と回答している。

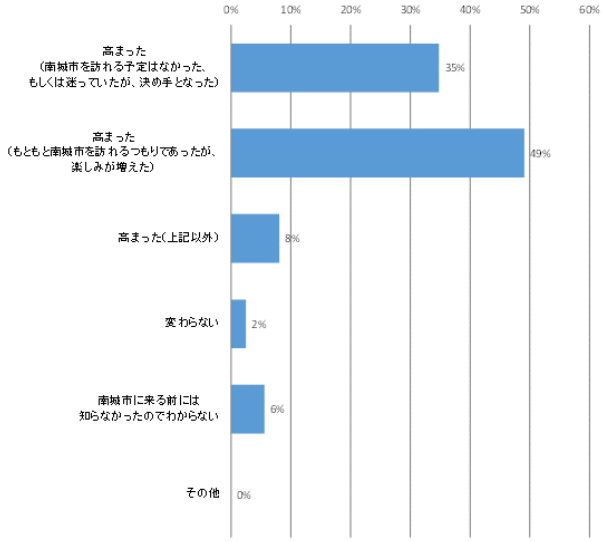


④実証による南城観光への影響・効果について

【南城市の来訪意欲への影響】

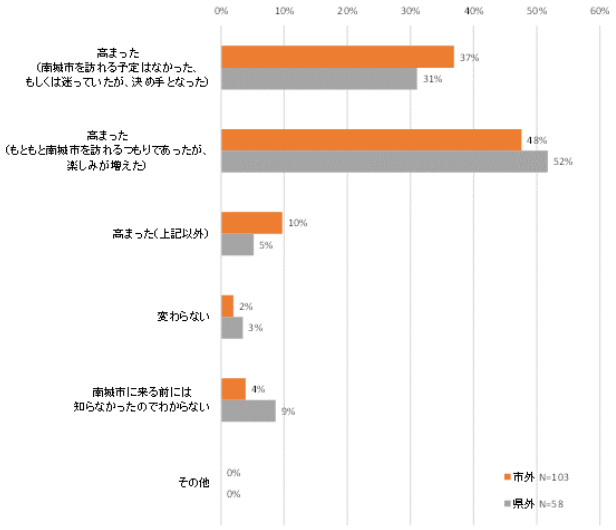
◆90%程度の回答者が、モビリティやシャトルバスがあったことで南城市の来訪意欲は高まったと回答している。

▼全体



N=161

▼居住地別：南城市外（県内）・県外

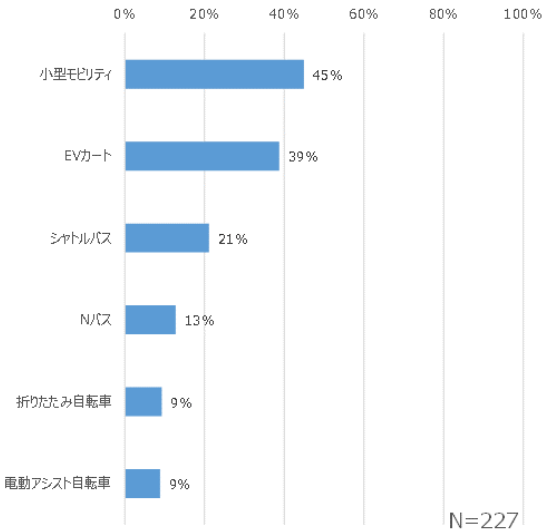


⑤モビリティの利用について（利用モビリティ、利用理由等）

【今回利用したモビリティ】

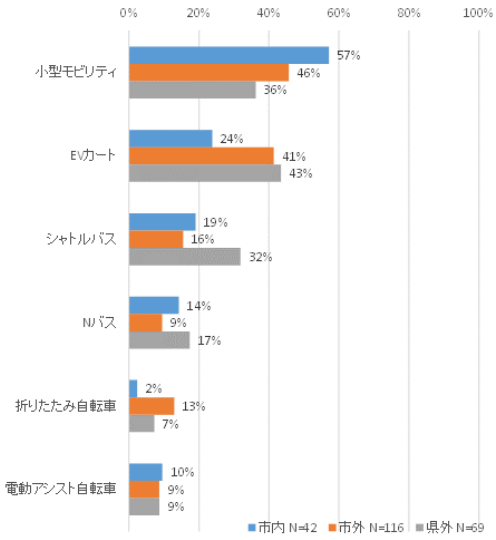
◆南城市内は、小型モビリティ（57%）が最も多く、次いでEVカート（24%）が多い。
◆南城市外（県内）は、小型モビリティ（46%）が最も多く、次いでEVカート（41%）が多い。
◆県外は、EVカート（43%）が最も多く、小型モビリティ（36%）が多い。

▼全体



N=227

▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外

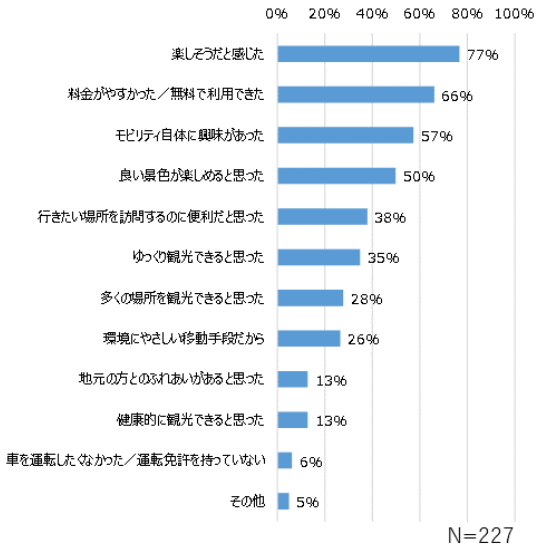


⑤モビリティの利用について（利用モビリティ、利用理由等）

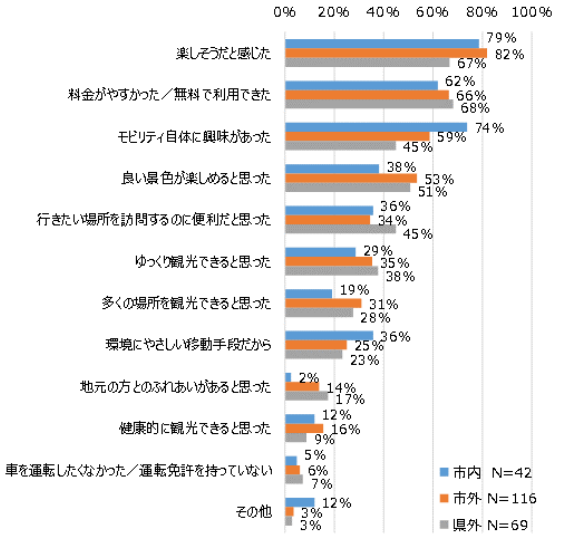
【モビリティを利用した理由】

◆南城市内は、楽しそうだと感じた（79%）が最も多く、次いでモビリティ自体に興味があった（74%）が多い。
◆南城市外（県内）は、楽しそうだと感じた（82%）が最も多く、次いで料金がやすかった／無料で利用できた（66%）が多い。
◆県外は、料金がやすかった／無料で利用できた（68%）が最も多く、楽しそうだと感じた（67%）が多い。

▼全体



▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外

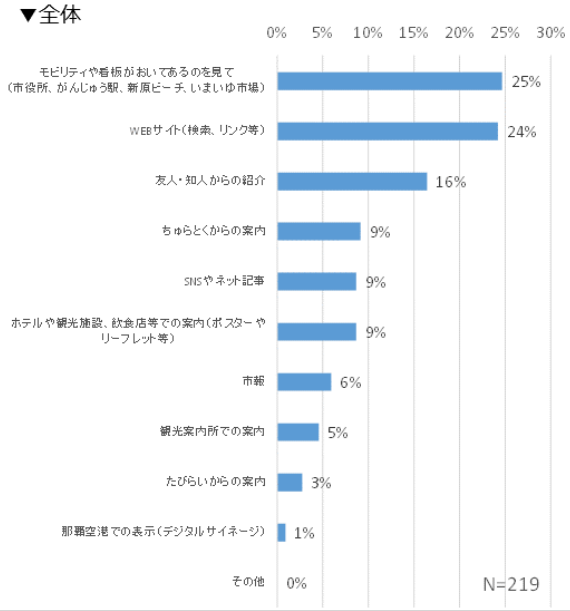


⑤モビリティの利用について（利用モビリティ、利用理由等）

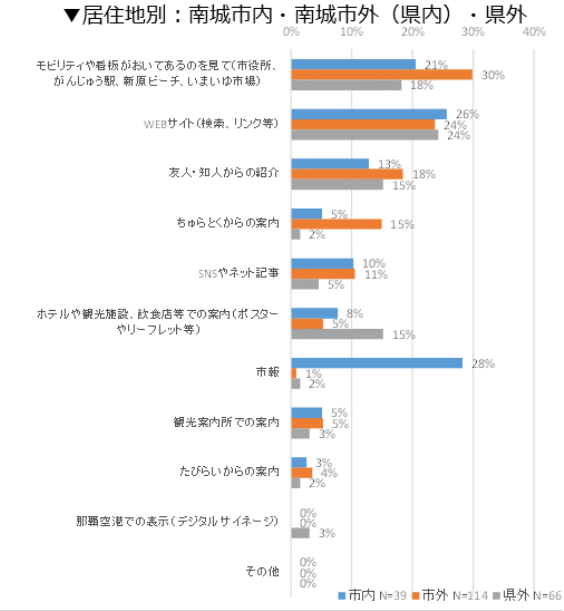
【モビリティを知ったきっかけ】

◆南城市内は、市報（28%）が最も多く、次いでWEBサイト(26%）が多い。
◆南城市外（県内）は、モビリティや看板（30%）が最も多く、次いでWEBサイト（24%）が多い。
◆県外は、 WEBサイト（24%）が最も多く、モビリティや看板（18%）が多い。

▼全体



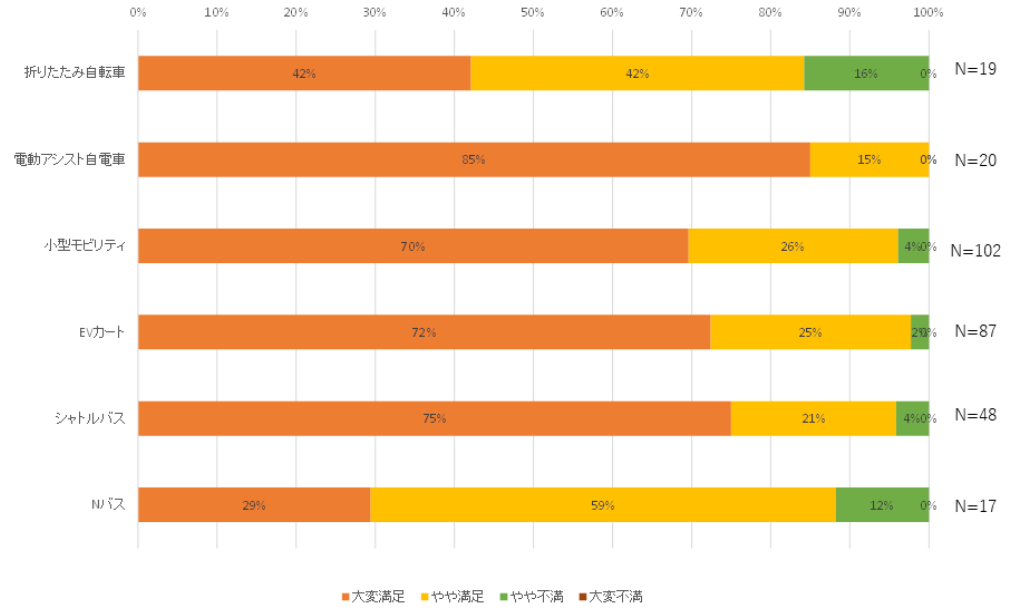
▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外



⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【モビリティ利用の総合的な満足度】

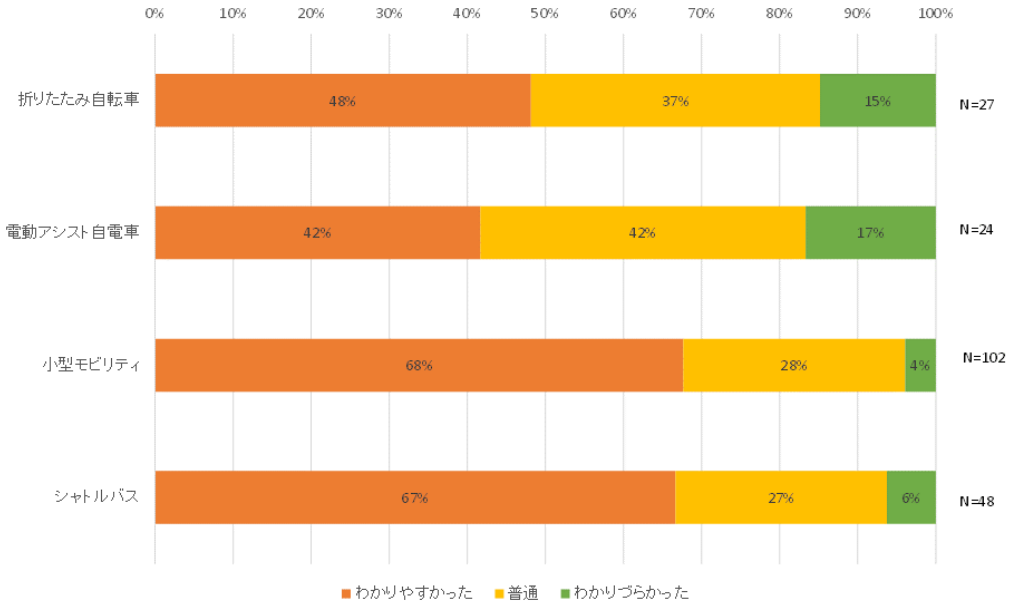
◆80%以上の回答者が、モビリティ利用の総合満足度が「大変満足」または「やや満足」と回答している。



⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【予約方法のわかりやすさ】

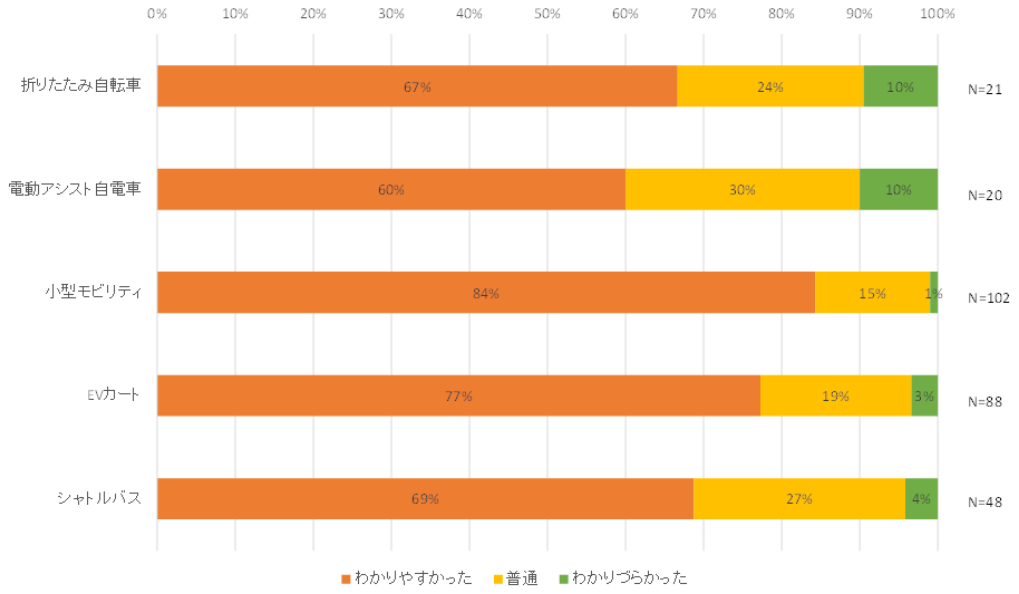
◆80%以上の回答者が、予約方法のわかりやすさが「わかりやすかった」または「普通」と回答している。



⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【案内のわかりやすさ】

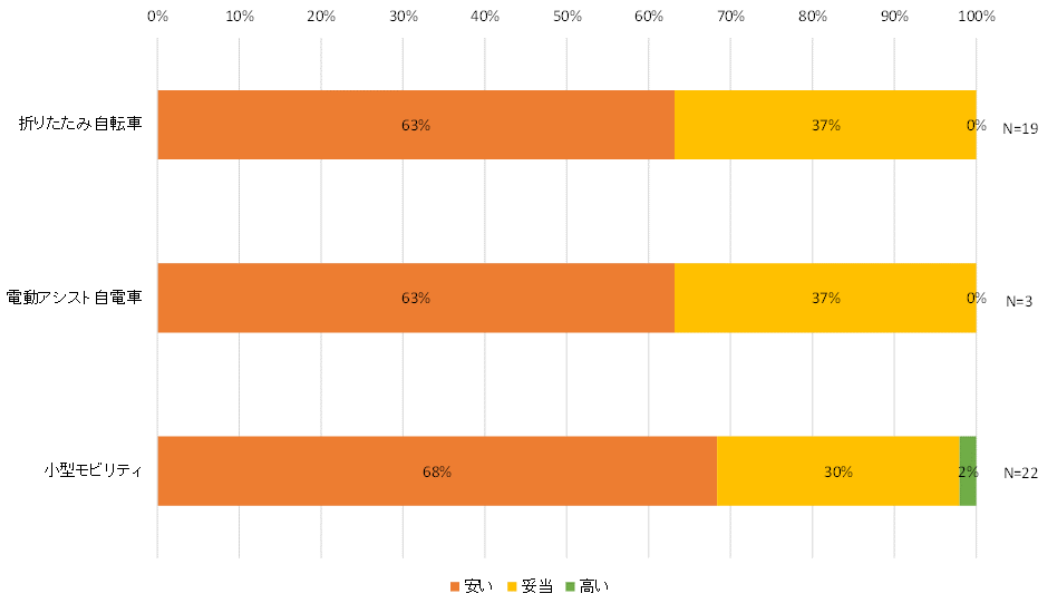
◆80%以上の回答者が、案内のわかりやすさが「わかりやすかった」または「普通」と回答している。



⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【実証時のモビリティの料金設定について】

◆90%以上の回答者が、利用料金の妥当性について「安い」または「妥当」と回答している。



⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【実証後のモビリティ利用の支払意思額】

◆支払意思額の平均値をみると、どのモビリティにおいても、今回の実証で設定していた料金よりも大きい金額となっている。

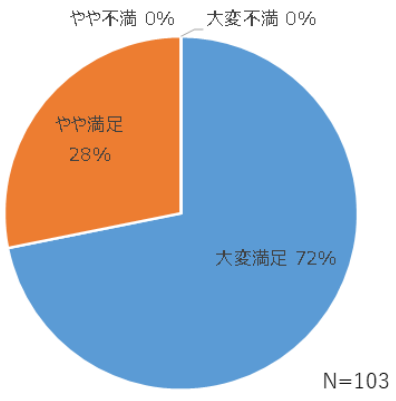
モビリティの種類	最小値	最大値	平均値	中央値	今回の料金
折りたたみ自転車 N=12	300円	3,000円	1,050円	750円	500円
電動アシスト自転車 N=12	300円	3,000円	925円	650円	500円
小型モビリティ N=69	1,000円	5,000円	2,187円	2,000円	1,500円
EVカート N=88	50円	6,000円	570円	300円	0円
シャトルバス N=48	100円	2,000円	610円	500円	0円

⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

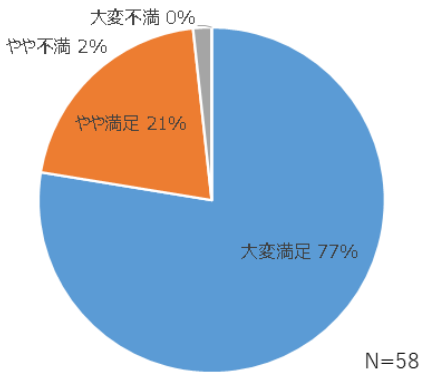
【南城市滞在の満足度】

◆南城市外（県内）は、全員が「大変満足」もしくは「やや満足」と回答している。
◆県外は、98%の方が「大変満足」もしくは「やや満足」と回答している。

▼南城市外（県内）



▼県外

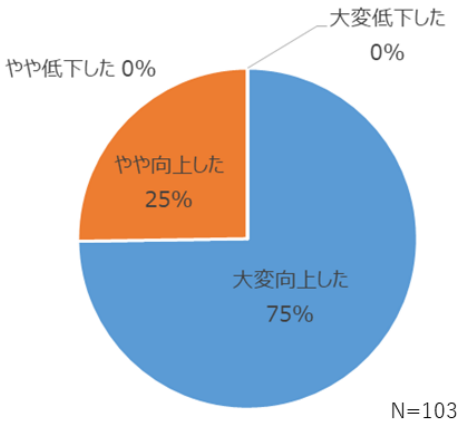


⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

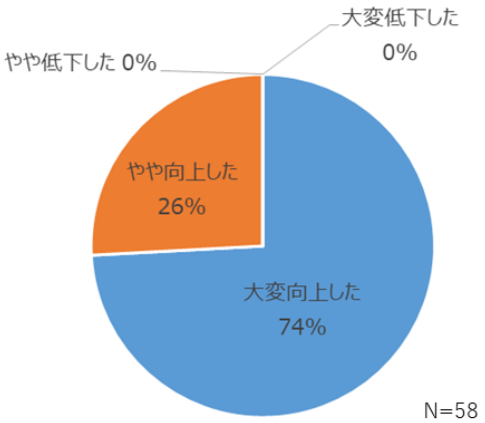
【モビリティによる南城市滞在の満足度の向上】

◆南城市外（県内）、県外ともに、全員が「大変向上した」もしくは「やや向上した」と回答している。

▼南城市外（県内）



▼県外

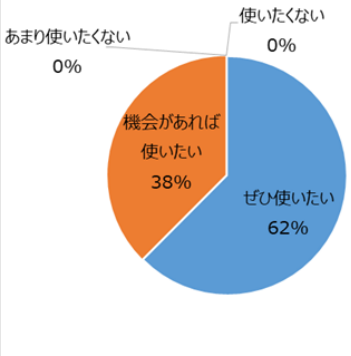


⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

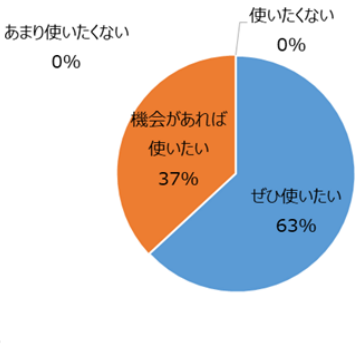
【今後のモビリティの利用意向】

◆南城市内、市外（県内）ともに、全員が「ぜひ使いたい」もしくは「機会があれば使いたい」と回答している。
◆県外は、98%の方が「ぜひ使いたい」もしくは「機会があれば使いたい」と回答している。

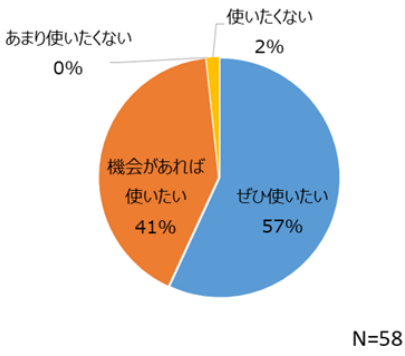
▼南城市内



▼南城市外（県内）



▼県外

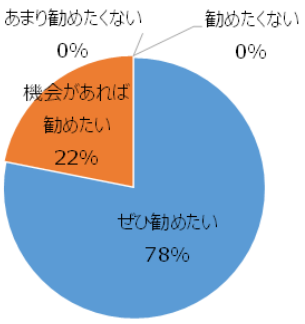


⑥実証の評価について（満足度、利用わかりやすさ、料金等）

【友人や知人への推奨意向】

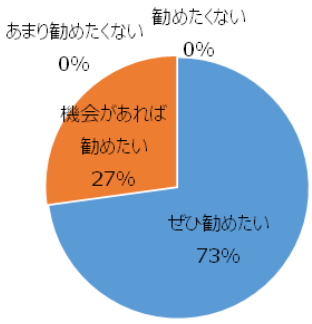
◆南城市内、市外（県内）ともに、全員が「ぜひ勧めたい」もしくは「機会があれば勧めたい」と回答している。
◆県外は、98%の方が「ぜひ勧めたい」もしくは「機会があれば勧めたい」と回答している。

▼南城市内



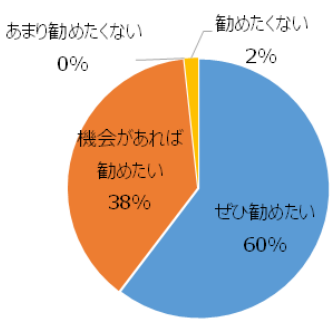
N=32

▼南城市外（県内）



N=103

▼県外



N=58

（４）動態分析調査の実施

利用者の移動距離（範囲）や移動経路、立寄先を把握することを目的に、レンタサイクル（折りたたみ自転車、電動アシスト自転車）および小型モビリティに GPS 機器を設置し、動態分析調査を実施した。

１）実施概要

以下に調査の概要を示す。

表 25　利用動態把握の概要

調査対象	＊本事業における小型モビリティ、レンタサイクルの利用者
調査方法	＊小型モビリティ、レンタサイクル利用時に各モビリティに設置した機器により位置情報を取得した。 ⇒位置情報取得の許諾については予約申し込み時に確認 ＊取得した位置情報（30 秒間隔）を地図上にプロットし動態を確認した。なお、モビリティを長時間設置する貸出拠点および周辺は調査対象から除外している。
調査時期	＊実証期間中（令和２年 10 月 26 日～12 月 27 日）
調査項目	＊以下の各拠点のモビリティの動態を把握。 ①小型モビリティ　（南城市役所　３台設置　115 台貸出） ②小型モビリティ　（がんじゅう駅　３台設置　50 台貸出） ③折りたたみ自転車　（南城市役所　４台設置　34 台貸出） ④折りたたみ自転車　（がんじゅう駅　４台設置　４台貸出） ⑤電動アシスト自転車（がんじゅう駅　４台設置　29 台貸出） ⑥電動アシスト自転車（新原ビーチ　４台設置　25 台貸出） ⑦電動アシスト自転車（奥武島　４台設置　24 台貸出）

２）実施結果

以下に調査の結果を示す。

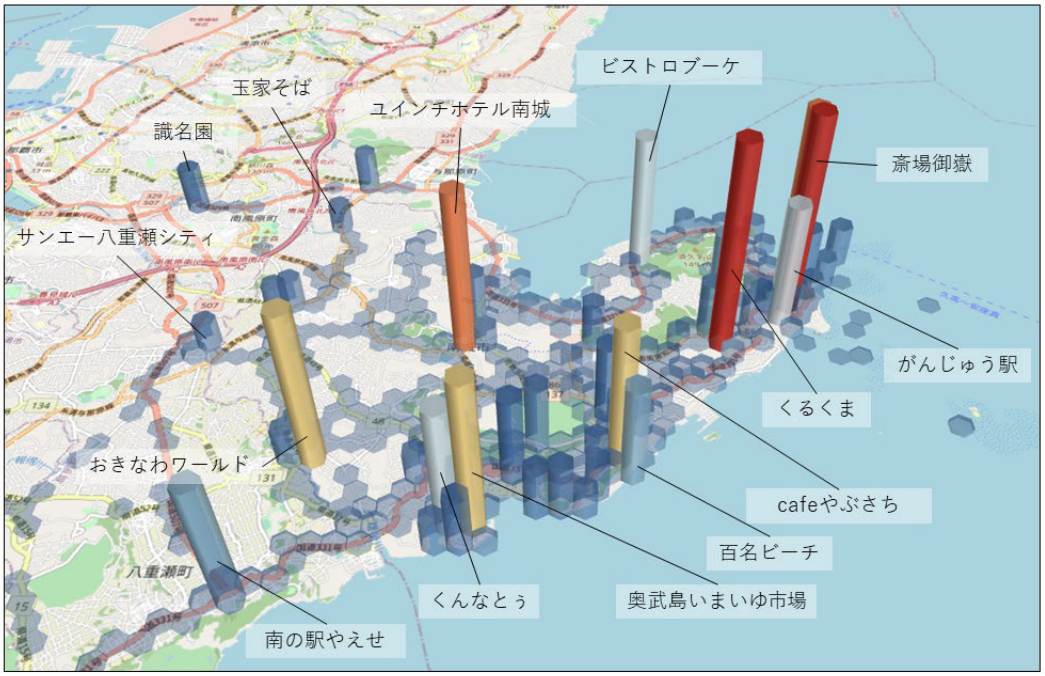
①小型モビリティ　南城市役所設置

（南城市役所　3台設置　115台貸出）



②小型モビリティ　がんじゅう駅設置

（がんじゅう駅　3台設置　50台貸出））



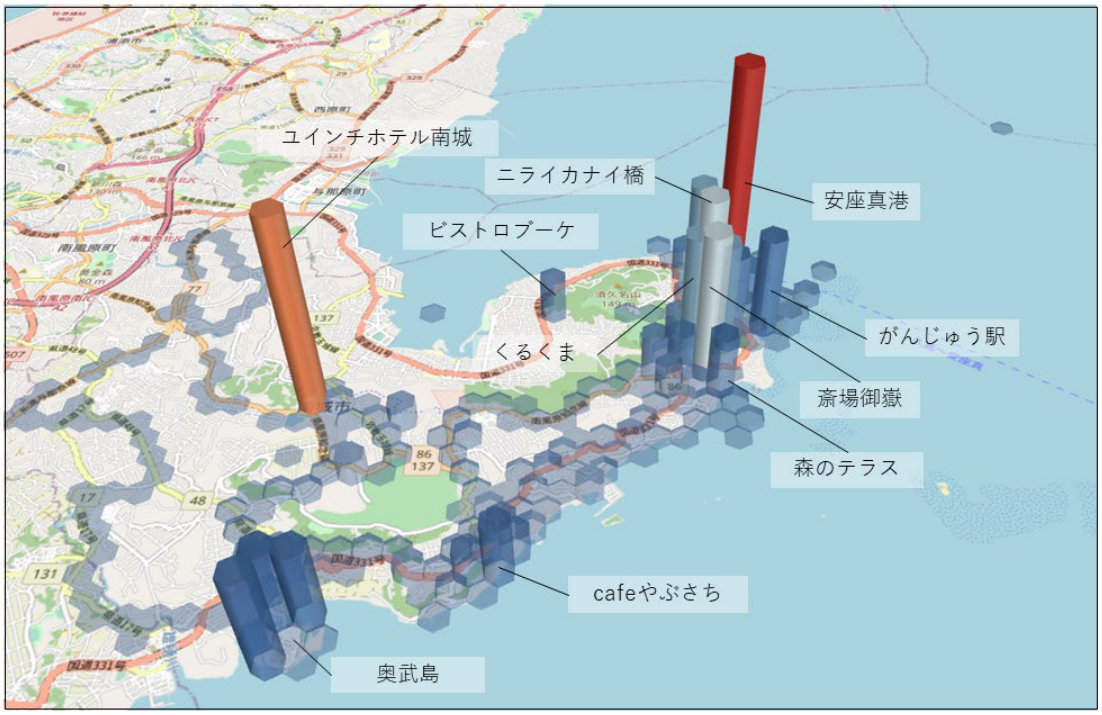
③折りたたみ自転車　　南城市役所設置

（南城市役所　　4台設置　　34台貸出）



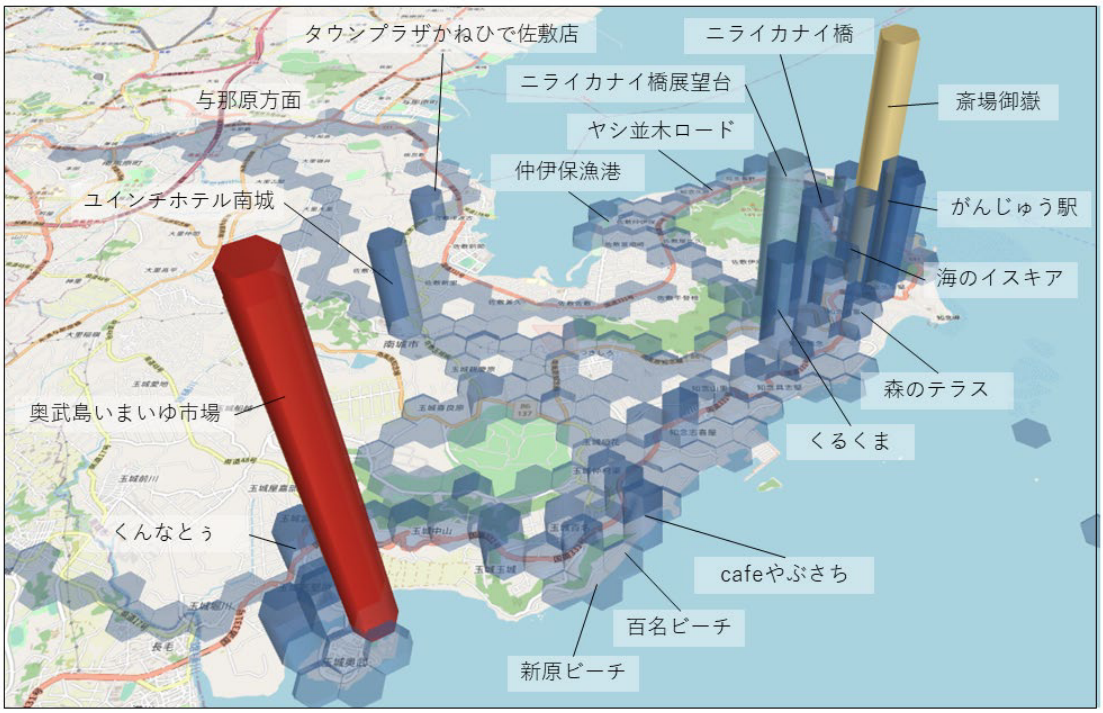
④折りたたみ自転車　　がんじゅう駅設置

（がんじゅう駅　4台設置　　4台貸出）



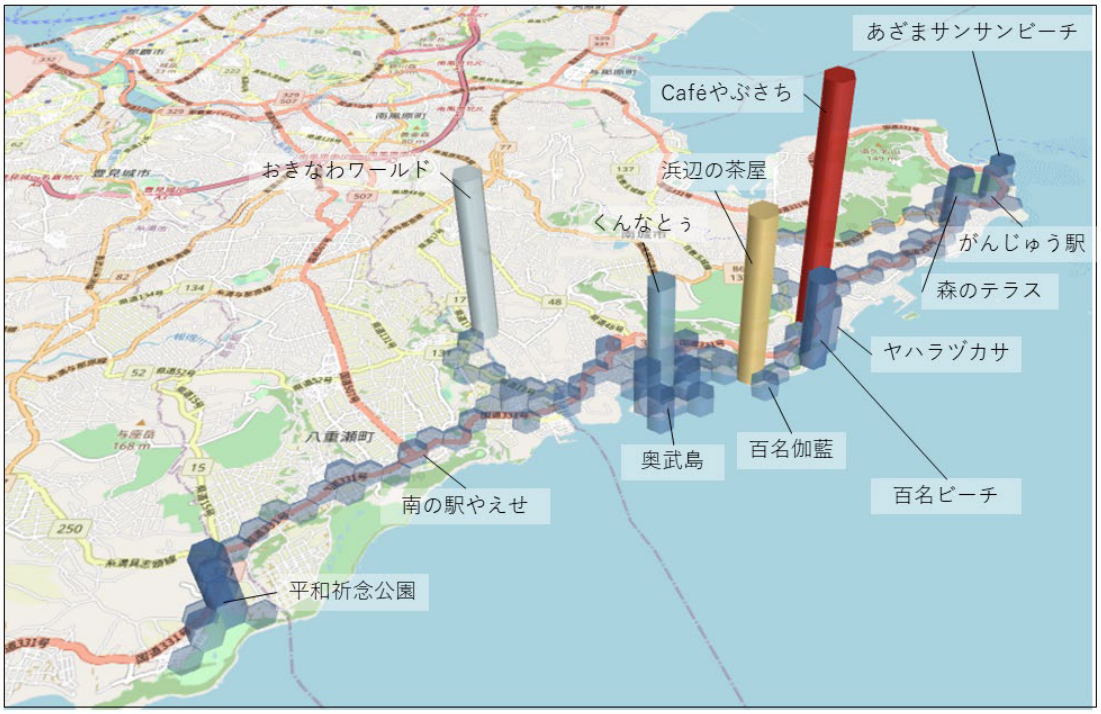
⑤電動アシスト自転車　がんじゅう駅設置

（がんじゅう駅　4台設置　29台貸出）



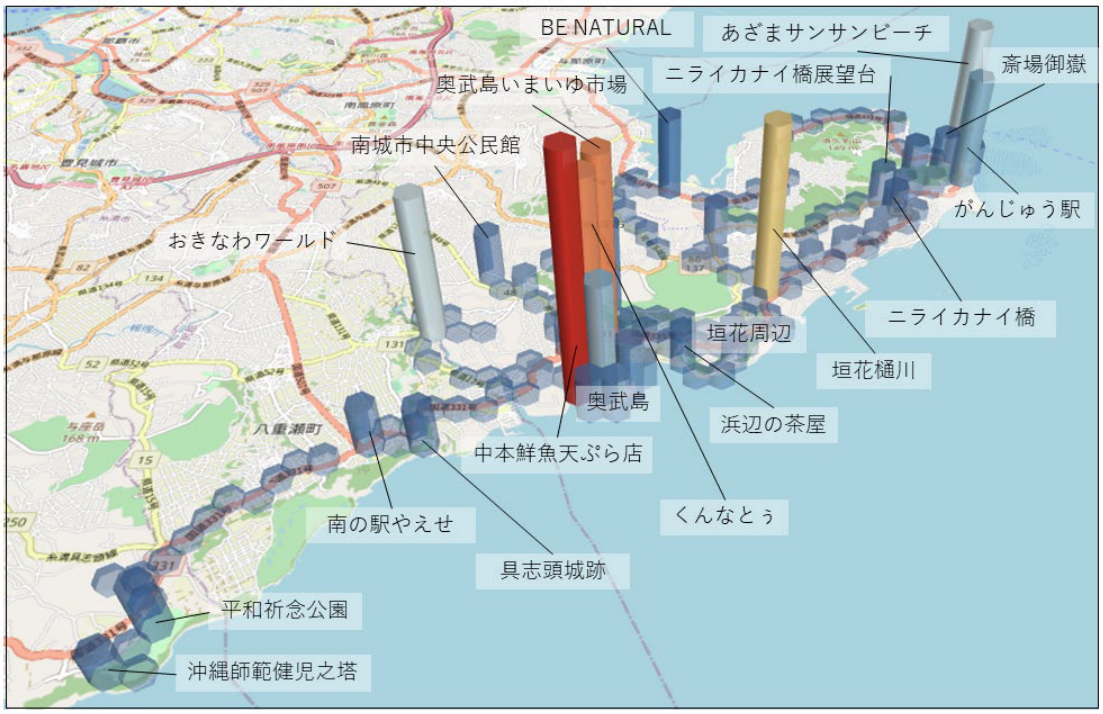
⑥電動アシスト自転車　　新原ビーチ設置

（新原ビーチ　4台設置　25台貸出）



⑦電動アシスト自転車　　奥武島設置

（奥武島　　4台設置　　24台貸出）



（５）ポタうま～いの実施

実証調査の一環として、県内在住の学生や地域の関係者等を対象に、モニター企画を開催し、モビリティで南城市内を周遊いただき、意見交換を行った。

１）実施概要

以下に実施概要を示す。

表 26　実施概要

日時	令和２年 11 月５日（木）～６日（金）
当日の流れ	≪11 月５日（木）≫ 8:00　南城市役所集合後 8:30-18:00　市内周遊 18:00　アンケートに回答、解散 ≪11 月６日（金）≫ 8:00　南城市役所集合後 8:30-17:00　市内周遊 17:00　アンケートに回答、解散
内容	・南城市内で貸出を行っているモビリティを利用し、南城市内を観光した。 ・Ａチーム、Ｂチームに分かれて、それぞれ別コースを周遊した。
参加者	５日（木）　Ａチーム：５名、Ｂチーム：６名 ６日（金）　Ａチーム：４名、Ｂチーム：４名

２）実施結果

以下に各チームの周遊した結果を実施日ごとに示す。

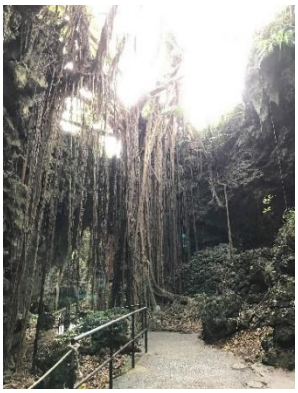
【５日：Ａチーム】

コース 移動手段	南城市役所⇒N バスに乗車（C1　8:30 市役所発）⇒おきなわワールド⇒N バスで移動（C2　11:14 玉泉洞前発）⇒奥武島 散策⇒EV カートで移動⇒昼食⇒電動アシスト自転車で新原ビーチ散策⇒電動アシスト自転車で移動⇒やぶさちツアー⇒N バスで移動（A1　17:39 新原ビーチ発）
参加者	５名（地域の事業者・関係者等）
周遊の様子	

【５日：Ｂチーム】

コース 移動手段	南城市役所⇒折りたたみ自転車にてうみかぜホースファーム見学⇒小型モビリティで小春日和、Cococo へ⇒奥武島でランチ（いまいゆ市場）⇒小型モビリティで仲村渠集落へ移動で徒歩散策⇒がんじゅう駅⇒斎場御嶽⇒カフェ 森のテラス⇒小型モビリティにて市役所へ
参加者	６名（県内在住の学生、地域の事業者・関係者等）
周遊の様子	     

【６日：Ａチーム】

コース 移動手段	南城市役所⇒N バスに乗車（C1　8:30 市役所発）⇒ガンガラーの谷⇒ N バスに乗車（C2　11:14　玉泉洞前発）⇒奥武島 散策⇒EV カートで移動⇒新原ビーチ散策⇒N バスに乗車（A1　12:57　新原発）⇒ がんじゅう駅で小型モビリティをレンタル・移動⇒昼食（くるくま）⇒ 知念岬公園 散策⇒がんじゅう駅⇒N バス（A1　16:05　斎場御嶽入口バス停発）⇒南城市役所
参加者	４名（地域の事業者・関係者、南城市公共交通アテンダント）
周遊の様子	

【６日：Ｂチーム】

コース 移動手段	南城市役所⇒小型モビリティで移動⇒紅型体験（虹亀商店）⇒ あざまサンサンビーチで BBQ⇒がんじゅう駅⇒斎場御嶽・ガイド散策⇒南城市役所
参加者	４名（地域の事業者・関係者、南城市公共交通アテンダント）
周遊の様子	     

３）参加者による意見交換の結果

参加者よりいただいた意見や感想等を以下に示す。

◆南城市を周る N バスやスローモビリティを活用して南城市の史跡、お洒落カフェ、天然ビーチなどの市内観光スポットをくまなく満喫できた。

◆2 人乗りの小型モビリティは、運転免許証があれば誰でも運転でき、コンパクトサイズなので小さな道も簡単に走れて凄く便利だった。こういった便利な移動手段が沖縄にもっと増えるとうれしい。

◆正直、こんなに楽しめるとは思っていなかった。大きな建物が少ないため、自然の山の形、海の美しさを満喫できる。沖縄始まりの地としての歴史も学べる。沖縄県内外の人に学び楽しんでもらいたい。

◆自転車、与那国馬、小型モビリティを活用して、南城の史跡やカフェを巡り、ゼロは無理でも負荷の小さなモビリティでの移動は、移動というプロセスを楽しむ魅力を教えてくれた。静かな集落内も車ではなく小型モビリティのようなモビリティで動きたい。

◆EV カートは、畑の中をグングン走るため気持ちが良かった。

◆久しぶりの自転車でしたが、電動アシスト付きだったため坂道もラクラクだった。

◆南城市には、いろんなカフェや御嶽や樋川があり、色々と楽しめる場所が多くあることを改めて感じた。

◆小型モビリティは CO2 が排出されず、地球に優しいことはとても気持ちよく嬉しかった。

３．実証調査のプロモーション

３．１　プロモーションの実施概要

本実証調査の PR を行い、参加者を増やすための取組として以下の項目を企画・実施した。

①特設サイトによる全般的な情報発信

⇒令和２年 10 月 16 日より特設サイトを開設し、事業の趣旨やモビリティの利用方法、予約方法、マップ、楽しみ方等を案内。

⇒沖縄への旅行を検討している県外の方などにも閲覧いただくため、「沖縄」や「南城」など関連するキーワードを検索した際に、バナー画像などが表示されるよう、リスティング広告を行った。

②Instagram やブログによるモビリティの楽しみ方の発信

⇒SNS の中で画像の掲載をメインとして利用されている Instagram やブログ（アメーバ）を開設し、モビリティの楽しみ方、楽しんでいる様子、モデルコースなどを投稿。

❏Instagram（投稿回数： 計 26 回）

❏ブログ：アメーバ（投稿回数：計５回）

③モビリティ利用者による SNS の投稿

⇒利用いただいた方に SNS 等による情報発信を促し、「#南城スローモビリティ」を付けて、 Instagram や Facebook、Twitter にて発信いただいた。

④市内関係者等の SNS や HP による発信

⇒南城市や観光協会、市内観光事業者等の HP 等に特設サイトのリンクや、バナー画像を掲載。

❏広報なんじょう（10 月号、11 月号）　❏南城市 HP

❏南城市観光協会 HP、なんじょう巡るん　❏らしいね南城市 HP

❏ユインチホテル南城 HP、Facebook　❏朝陽の宿 涼風 HP

⑤観光関連施設等におけるリーフレット、ポスターの配布

⇒市内の観光施設・宿泊施設・飲食施設や那覇空港、那覇バスターミナル（観光案内所）等へリーフレットやポスターを配布し、来訪者へ配布いただいた。

❏リーフレット（A4 サイズ）：計 37 施設（計 4050 枚）配布

❏ポスター（A2 サイズ）：計 36 施設（計 43 枚）配布

⑥PR 動画の作成、特設サイト・SNS・YouTube での配信

⇒モビリティを使用して楽しんでいる様子がわかる動画（2 分 10 秒）を作成し、特設サイトや SNS 等で配信した。

⑦那覇空港内・ Ｎバス車内のサイネージにおける広告

⇒事業概要やサイトの QR コード、バスの運行時刻、PR 動画などを那覇空港や Ｎバスのサイネージに投影した。

❏那覇空港 国内線 １階 到着ロビー ２箇所（３分間に１回程度投影）

❏Ｎバス車内のサイネージ（５分間に１回程度投影）

⑧県内の観光事業者への発信（OCVB メルマガの配信）

⇒県内の観光関連事業者への情報発信として、沖縄観光コンベンションビューローの賛助会員向けのメルマガにて案内。

⑨観光情報サイト（たびらい、ちゅらとく）への掲載

⇒県外向け、県内向けの旅行サイトにおいて事業を紹介。

❏県外向け：「たびらい」

❏県内向け：「ちゅらとく」

⑩空港-南城間のシャトルバスの運行

⇒実証期間中の金土日祝において、那覇空港から南城市役所までの直通バスを運行し、本実証のプロモーションを実施した。

３．２　プロモーションの実施結果

（１）特設サイトによる全般的な情報発信

令和２年 10 月 16 日より特設サイトを開設し、事業の趣旨やモビリティの利用方法、予約方法、マップ、楽しみ方等の案内を行った。

沖縄への旅行を検討している県外の方などにも閲覧いただくため、「沖縄」や「南城」など関連するキーワードを検索した際に、バナー画像などが表示されるよう、リスティング広告を行った。

❏開設期間：2020 年 10 月 16 日～2020 年 12 月 27 日
⇒閲覧者数：9,033 ユーザー
⇒ページビュー数：19,679 回
⇒アクセス経路：「リスティング広告」が最も多い（4,889 ユーザー）。



図 17　特設サイトのトップページ

（２）Instagram やブログによるモビリティの楽しみ方の発信

SNS の中で画像の掲載をメインとして利用されている Instagram やブログ（アメーバ）を開設し、モビリティの楽しみ方、楽しんでいる様子、モデルコースなどを投稿。

❏Instagram（投稿回数： 計 26 回）
⇒インプレッション数（フォロワーのタイムラインに表示された回数）：4,627 回
⇒リーチ数（投稿が閲覧された回数）： 3,865 回
⇒総いいね数： 830 回
❏ブログ：アメーバ（投稿回数：計 5 回）
⇒総閲覧数：770 回

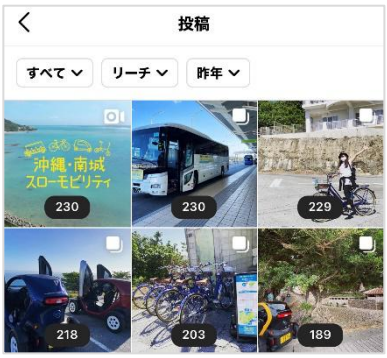


図 18 Instagram のリーチ数（一部抜粋）



図 19 ブログの掲載ページ

（３）モビリティ利用者による SNS の投稿

利用いただいた方に SNS 等による情報発信を促し、「#南城スローモビリティ」を付けて、Instagram や Facebook、Twitter にて発信いただいた。

⇒Instagram：投稿数 102（投稿ユーザー数 36）、いいね数 2,609
⇒Facebook：投稿数 29（投稿ユーザー数 17）、いいね数 1,239
⇒Twitter ：投稿数 23（投稿ユーザー数 14）、いいね数 317



図 20 Instagram の投稿（一部抜粋）



図 21 Twitter の投稿（一部抜粋）

（４）市内関係者等の SNS や HP による発信

南城市や観光協会、市内観光事業者等の HP 等に特設サイトのリンクや、バナー画像を掲載いただいた。



図 22　南城市観光協会 HP



図 23　南城市 HP



図 24　ユインチホテル南城 HP



図 25　なんじょう巡るん



図 26　朝陽の宿　涼風 HP



図 27　らしいね南城市 HP

（５）観光関連施設等におけるリーフレット、ポスターの配布

市内の観光施設・宿泊施設・飲食施設や那覇空港、那覇バスターミナル（観光案内所）等へリーフレットやポスターを配布し、来訪者へ配布いただいた。

以下に、リーフレットとポスターの配布枚数を示す。また、次頁以降に、リーフレットとポスターのデザインを示す。

≪配布枚数≫

■リーフレット（A4 サイズ）：計 37 施設（計 4050 枚）配布

■ポスター（A2 サイズ）：計 36 施設（計 43 枚）配布



図 28　配布したリーフレット（A4 サイズ）　表面



図 29　配布したリーフレット（A4 サイズ）　裏面



図 30　配布したリーフレット（A4 サイズ）　表面



図 31　配布したリーフレット（A4 サイズ）　裏面



図 32　配布したポスター（A2 サイズ）

（６）PR 動画の作成、特設サイト・SNS・YouTube での配信

モビリティを使用して楽しんでいる様子がわかる動画（2 分 10 秒）を作成し、特設サイトや SNS 等で配信した。

以下に、実証期間内の YouTube における動画の再生回数を示す。

■YouTube の再生回数：451 回（2020/11/20～12/27）



図 33　PR 動画の冒頭部分（https://youtu.be/rux0x08kqi0）

（７）那覇空港内・ Ｎバス車内のサイネージにおける広告

事業概要やサイトの QR コード、バスの運行時刻、PR 動画などを那覇空港やＮバスのサイネージに投影した。

以下に、各サイネージにおける動画の再生頻度を示す。

■那覇空港 国内線１階到着ロビーにあるサイネージ（2 箇所）：3 分間に 1 回程度投影

■Ｎバス車内のサイネージ：5 分間に 1 回程度投影



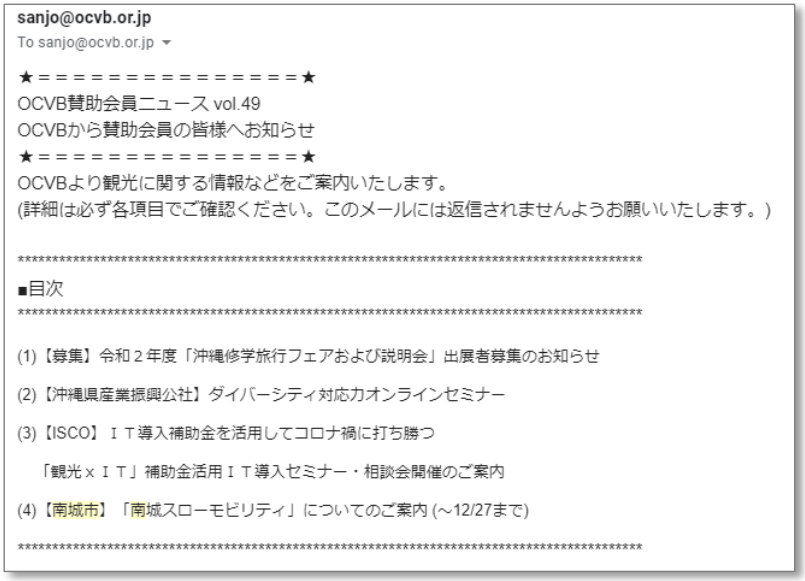
図 34　那覇空港のサイネージ
期間：2020/11/3～12/27



図 35　Ｎバス車内のサイネージ
期間：2020/11/10～12/27

（８）県内の観光事業者への発信（OCVB メルマガの配信）

県内の観光関連事業者への情報発信として、沖縄観光コンベンションビューローの賛助会員向けのメルマガにて案内。


sanjo@ocvb.or.jp
To sanjo@ocvb.or.jp

★＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝★
OCVB賛助会員ニュース vol.49
OCVBから賛助会員の皆様へお知らせ
★＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝★
OCVBより観光に関する情報などをご案内いたします。
(詳細は必ず各項目でご確認ください。このメールには返信されませんようお願いいたします。)

****
■目次
****

(1)【募集】令和２年度「沖縄修学旅行フェアおよび説明会」出展者募集のお知らせ

(2)【沖縄県産業振興公社】ダイバーシティ対応力オンラインセミナー

(3)【ISCO】ＩＴ導入補助金を活用してコロナ禍に打ち勝つ
「観光ｘＩＴ」補助金活用ＩＴ導入セミナー・相談会開催のご案内

(4)【南城市】「南城スローモビリティ」についてのご案内 (～12/27まで)

****

図 36　OCVB メルマガの配信

（９）観光情報サイト（たびらい、ちゅらとく）への掲載

県外向け、県内向けの旅行サイトにおいて事業の紹介記事を掲載いただいた。



図 37　県外向け：「たびらい」



図 38　県内向け：「ちゅらとく」

（１０）空港-南城市間のシャトルバスの運行

実証期間中の金土日祝において、那覇空港から南城市役所までの直通バスを運行し、本実証のプロモーションを実施した。

期間中の週末（金・土・日・祝）は、那覇空港から南城市まで無料シャトルバスが運行。
南城市を観光される方ならどなたでも利用できます。

※約1時間で南城市まで直行します。
※定員は約40名。ご利用には予約が必要です。



運行スケジュール

EV カートも同日に運行します。

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	29	30	1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30	1	2	3	4	5	27	28	29	30	31	1	2

● 運行日　○ 実証開始・終了

南城市役所⇒那覇空港方面

南城市役所（ユインチホテル南城隣接）	那覇市内/県民広場前（国際通り入口近く）※降車のみ	那覇空港国内線
8：45	9：25	9：45
11：25	12：05	12：25
14：45	15：25	15：45
17：30	18：10	18：30

那覇空港⇒南城市役所方面

那覇空港国内線（１階ANA側水槽前集合）	那覇市内/県民広場前（国際通り入口近く）※乗車のみ	南城市役所（ユインチホテル南城隣接）
10：05	10：30	11：10
12：45	13：10	13：50
16：05	16：30	17：10

図　39　空港-南城市間のシャトルバスの運行概要







図　40　シャトルバスの運行の様子

４．課題の整理及び今後の取組検討

４．１ 実証調査結果のまとめ

利用実績や予約前後のアンケート調査等より整理した、本実証調査の結果は以下の通り。
各項目の詳細な結果については、次頁以降に示す。

表 27 実証調査の結果の整理項目

１）実証の利用状況	①利用者数 ②利用率
２）利用属性	①居住地 ②年代・性別 ③来訪経験 ④同行者 ⑤滞在日数 ⑥南城市の来訪目的
３）利用状況	①平日・休日の利用状況 ②利用時間 ③予約のタイミング
４）実証による観光振興への効果	①南城市への来訪意欲 ②訪問箇所 ③滞在時間 ④消費 ⑤利用者特典等の利用状況
５）実証の評価について	①実証による満足度の向上 ②今後のモビリティの利用意向 ③友人・知人への推奨以降 ④実証後のモビリティの支払意思額 ⑤現地までのアクセス交通 ⑥Ｎバスとの連携
６）空港シャトルの実績詳細について	①空港シャトルの利用者数について ②利用者の居住地 ③利用者の性別・年代 ④金／土／日・祝の利用状況について

■実証調査の実施結果（1/13）

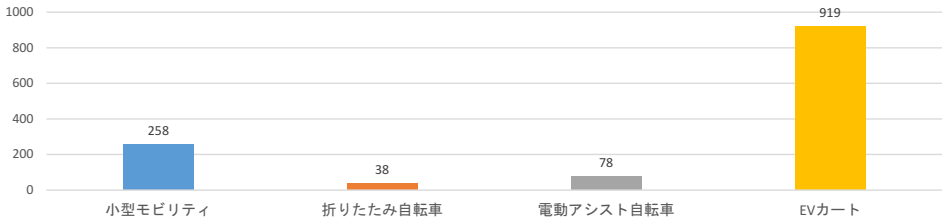
1）実証実験の利用状況

①利用者数

◆本実証の利用者数は延べ1,293人であった。
◆モビリティ別では小型モビリティが258人、折り畳み自転車が38人、電動アシスト自転車が78人、EVカートが919人であった。

▼モビリティごとの利用者数（人）

実証参加者 のべ **1,293**人



▼モビリティおよび貸渡場所ごとの利用者数（人）



1

（出典：利用実績データより）

1）実証実験の利用状況

②利用率

◆モビリティの利用率については、小型モビリティが台数ベースで43.7%。折りたたみ自転車は7.5%、電動アシスト自転車は10.3%。EVカートについては、定員に対する乗車率としての計算で30.9%であった。

▼モビリティごとの利用率

（期間：10月26日～12月27日）

		A：期間中の利用数（台・人）	B：期間中の受入れ可能容量	利用率（A/B）
①小型モビリティ（台数）	市役所（3台）	115台	189台	**60.8%**
	がんじゅう駅（3台）	50台	189台	**26.5%**
	計	165台	378台	**43.7%**
②折りたたみ自転車（台数）	市役所（4台）	34台	252台	**13.5%**
	がんじゅう駅（4台）	4台	252台	**1.6%**
	計	38台	504台	**7.5%**
③電動アシスト自転車（台数）	がんじゅう駅（4台）	29台	252台	**11.5%**
	新原ビーチ（4台）	25台	252台	**9.9%**
	奥武島（4台）	24台	252台	**9.5%**
	計	78台	756台	**10.3%**
④EVカート（人数）	奥武島-ﾔﾊﾗﾂﾞｶｻ（1日15便）	663人	2,550人	**26.0%**
	奥武島1周	256人	420人	**61.0%**
	計	919人	2,970人	**30.9%**

※期間中の受入れ可能容量の考え方：①、②、③は63日間実施のため、日数に設置台数を乗じることで算出。④は運行便数に定員を乗じることで算出。

2

（出典：利用実績データより）

■実証調査の実施結果（2/13）

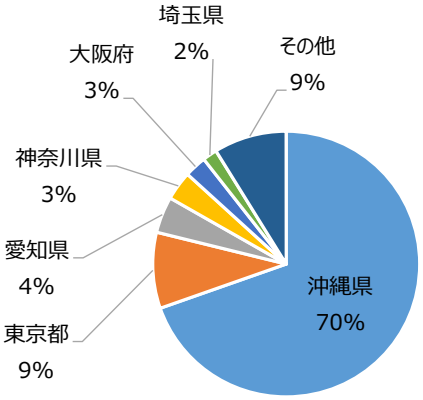
2）利用者属性

①居住地

◆居住地について、「沖縄県」が最も多く70%となっている。次いで、「東京都」「愛知県」「神奈川県」など主要都市圏からの来訪が多い。

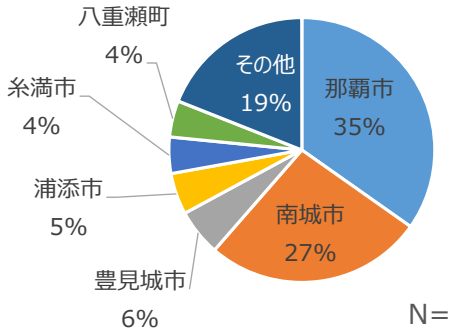
◆県内は、「那覇市（35%）」「南城市（27%）」からの来訪が多い。

▼全体（都道府県）



N=227

▼県内（市町村）



N=158

（出典：利用者アンケートより）

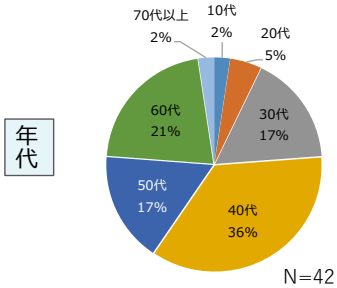
2）利用者属性

②年代・性別

◆県内は30代～40代が半数を占めており、県外では50代以上が半数を占めている。

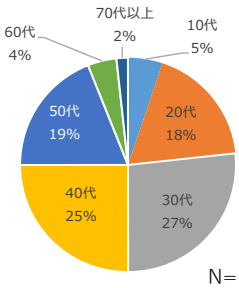
◆県内は女性が多く（55%程度）、県外は男性が多い（55%）。

▼南城市内



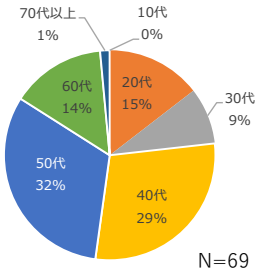
N=42

▼南城市外（県内）



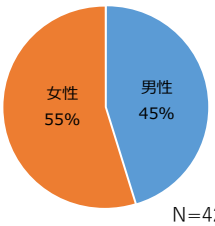
N=116

▼県外

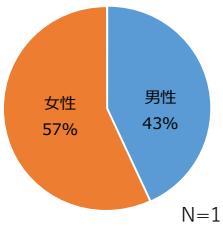


N=69

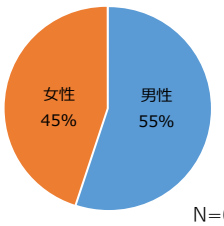
性別



N=42



N=116



N=69

（出典：利用者アンケートより）

■実証調査の実施結果（3/13）

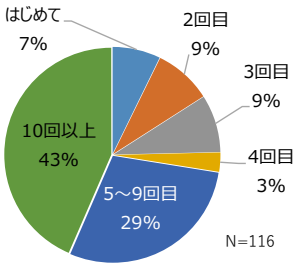
2）利用者属性

③来訪経験

【沖縄県への来訪回数】

◆沖縄県への来訪回数は、10回以上（43%）が最も多く、次いで5～9回目（29%）と多い。

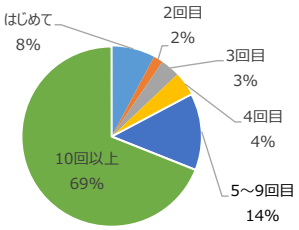
▼県外



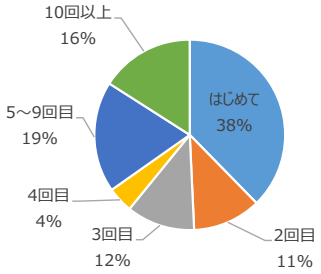
【南城市への来訪回数】

◆南城市外（県内）は10回以上（69%）が半数以上を占めており、県外ははじめて（38%）が多い。

▼南城市外（県内）



▼県外



5

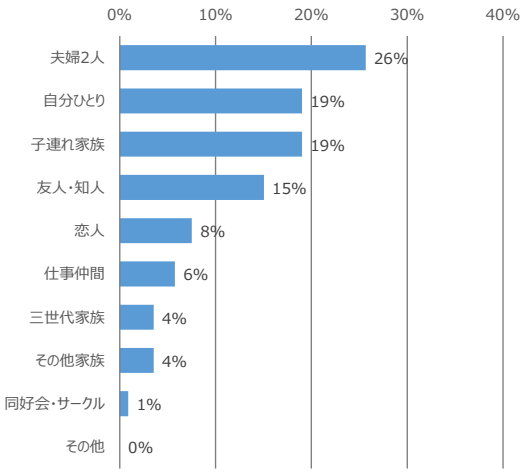
（出典：利用者アンケートより）

2）利用者属性

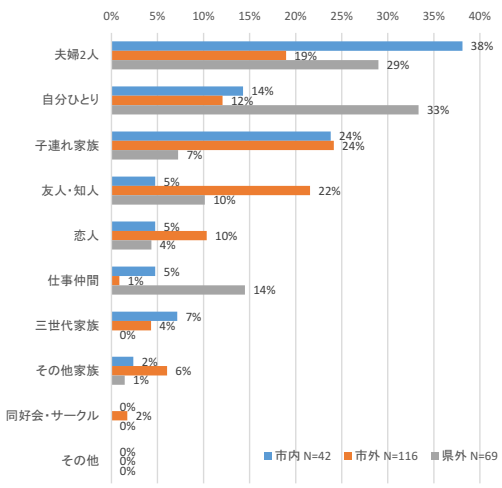
④同行者

◆南城市内は、夫婦2人（38%）が最も多く、次いで子連れ家族（24%）が多い。
◆南城市外（県内）は、子連れ家族（24%）が最も多く、次いで友人・知人（22%）が多い。
◆県外は、自分ひとり（33%）が最も多く、夫婦2人（29%）が多い。

▼全体



▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外



（出典：利用者アンケートより）

6

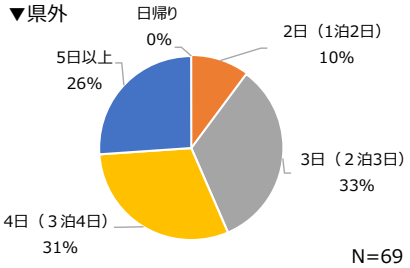
2）利用者属性

⑤滞在日数

【今回の旅行の滞在日数】

◆今回の旅行の滞在日数は、3日（33%）が最も多く、次いで4日（31%）と多い。

▼県外

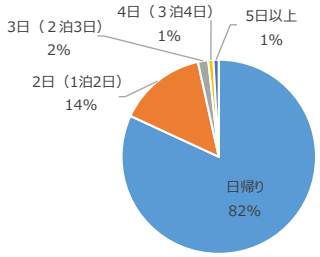


N=69

【南城市内の滞在日数】

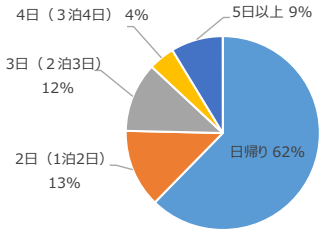
◆南城市外（県内）は日帰り（82%）が半数以上を占めており、県外も日帰り（62%）が多い。

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



N=69

（出典：利用者アンケートより）

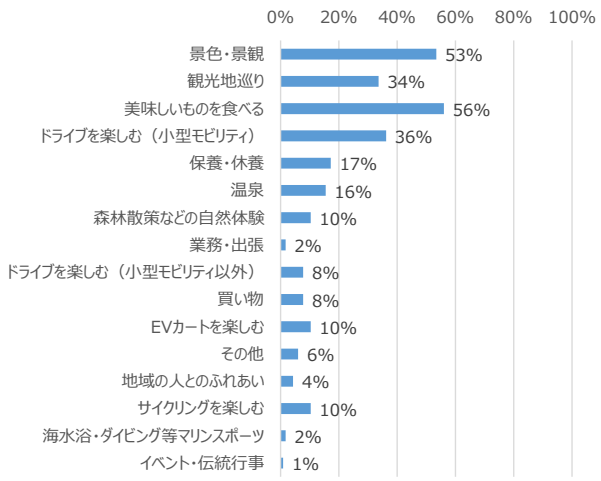
2）利用者属性

⑥南城市の来訪目的

◆南城市外（県内）の来訪目的は、美味しいものを食べる（56%）が最も多く、次いで景色・景観（53%）が多い。小型モビリティを目的とした来訪（ドライブを楽しむ、36%）も多くなっている。

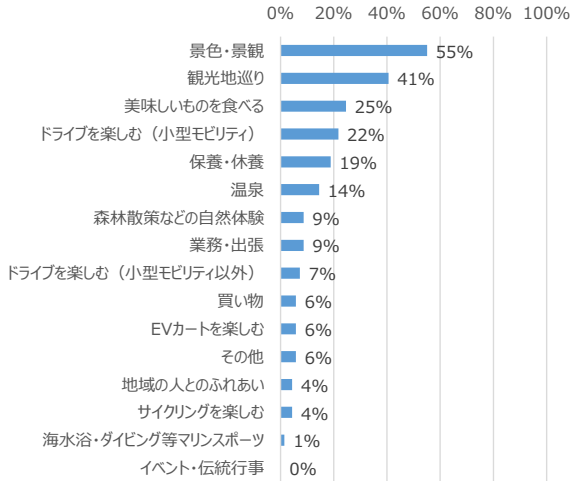
◆県外は、景色・景観（55%）が最も多く、次いで観光地巡り（41%）が多い。

▼南城市外（県内）



N=116

▼県外



N=69

（出典：利用者アンケートより）

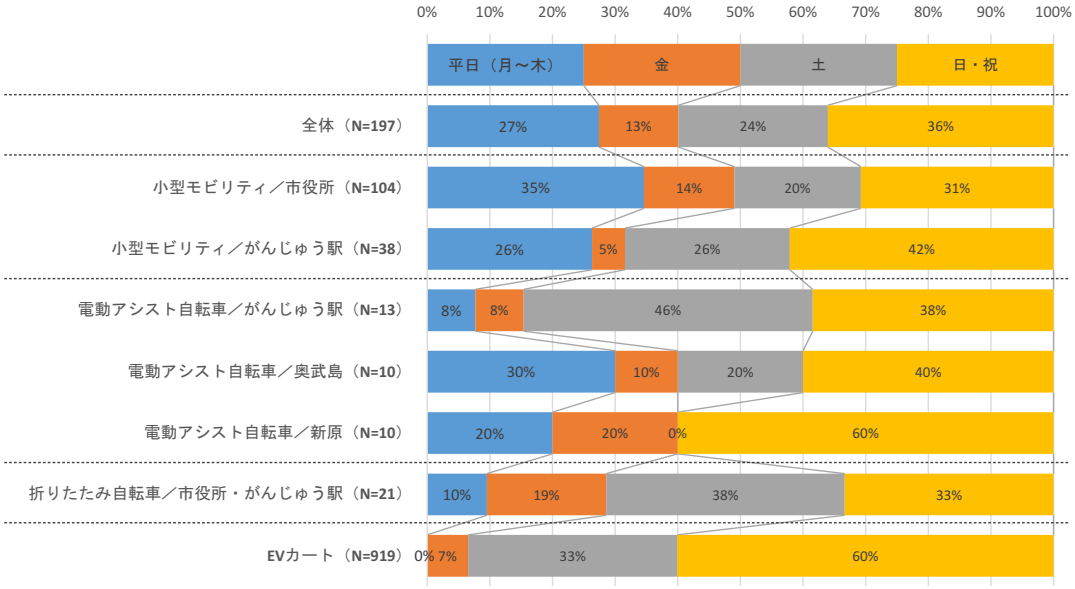
■実証調査の実施結果（5/13）

3）利用状況

①平日・休日の利用状況

◆平日・休日の利用状況をみると全体では「日・祝」が最も多く36%であった。
◆小型モビリティは平日利用も約3割と一定の割合貸出がされている。

▼平日（月~木）／金／土／日･祝別の利用割合



9

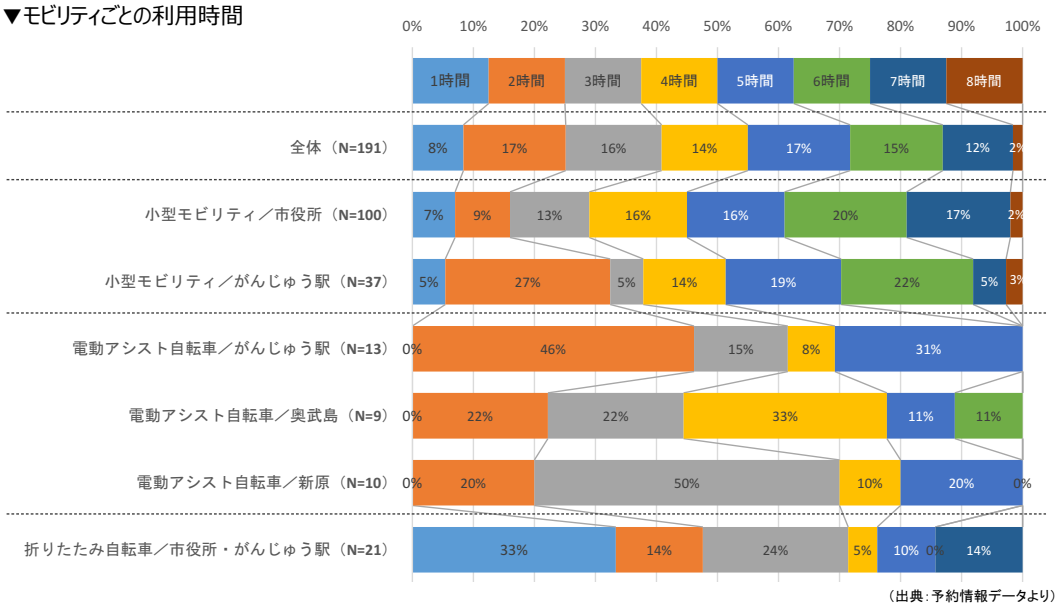
（出典：利用実績データより）

3）利用状況

②利用時間

◆小型モビリティについては、利用時間にばらつきがあるが5時間以上が5割程度と比較的長時間利用する傾向にある。
◆自転車（電動アシスト自転車、折りたたみ自転車）については、3時間以下の利用が概ね６～7割程度となっている。

▼モビリティごとの利用時間



（出典：予約情報データより）

10

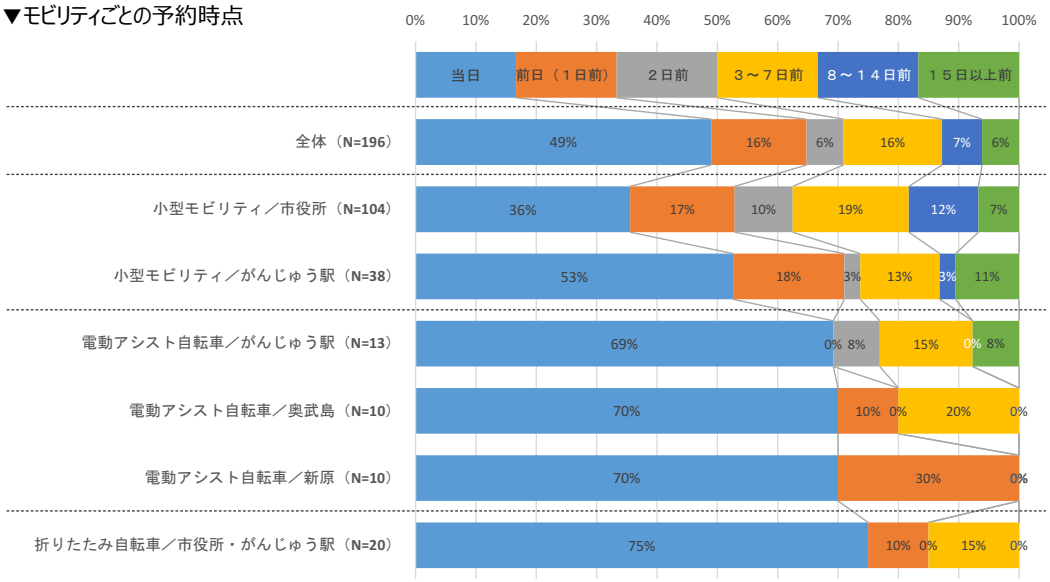
■実証調査の実施結果（6/13）

3）利用状況

③予約のタイミング

◆今回の実証では、当日予約が半数程度となっている。
◆小型モビリティについては、前日までに予約をする方が多い傾向にある。
◆自転車（電動アシスト自転車、折りたたみ自転車）については、当日予約が7～8割程度となっている。

▼モビリティごとの予約時点



11

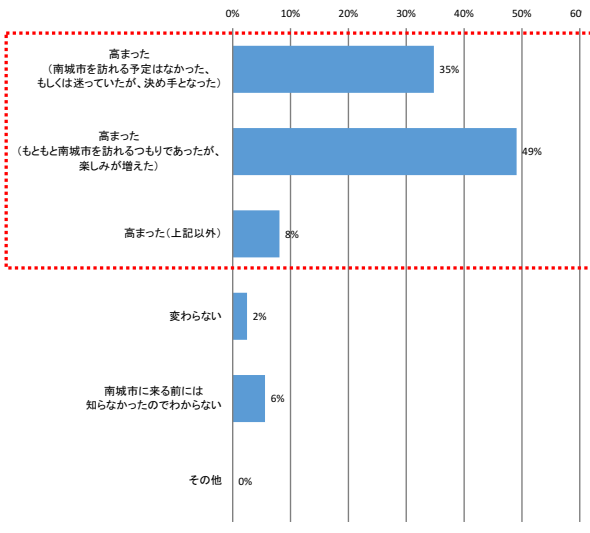
（出典：予約情報データより）

4）実証による観光振興への効果

①南城市への来訪意欲

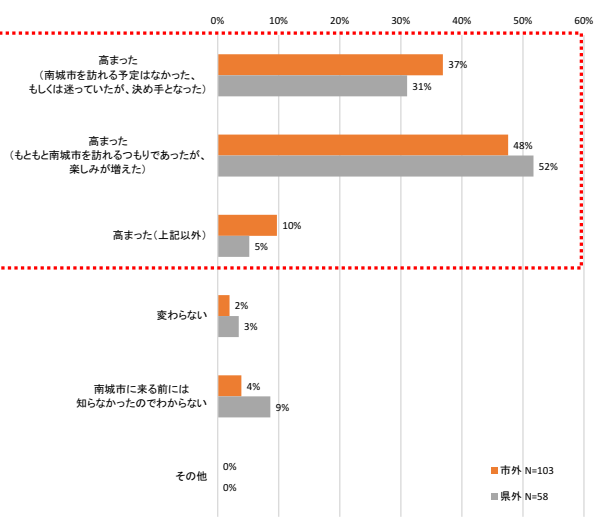
◆90%以上の回答者が、今回の実証実験で配置したモビリティやシャトルバスがあったことで南城市の来訪意欲は高まったと回答。

▼全体



N=161

▼居住地別：南城市外（県内）・県外



（出典：利用者アンケートより）

12

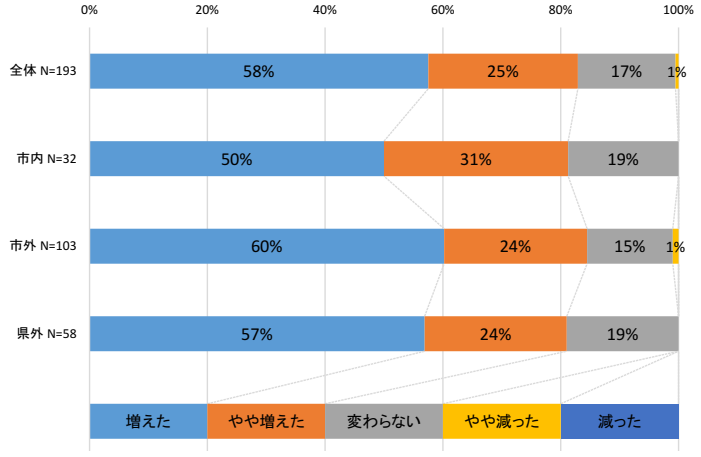
■実証調査の実施結果（7/13）

4）実証による観光振興への効果

②訪問箇所

◆80%程度の回答者が、モビリティの利用により、訪問箇所が「増加した」または「やや増加した」と回答。

▼実証による南城市内での訪問箇所数への影響



（出典：利用者アンケートより）

第２次観光振興計画のKPI（目標水準）

⑥ 来訪者の訪問箇所数

現状 2016	中間値 2022	目標値 2026	備考	基本方針との対応
2.41 箇所	3.25 箇所	4.00 箇所	■5年毎に来訪者アンケート調査を実施	基本方針 2～7

今回の実証時は**3.13箇所**
（県外客3.51箇所、県内客2.85箇所）

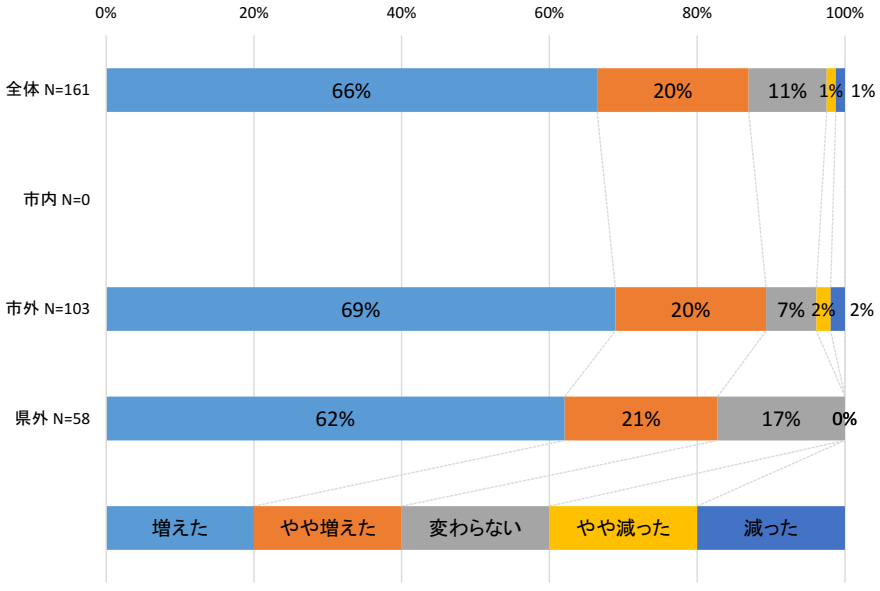
13

4）実証による観光振興への効果

③滞在時間

◆80%以上の回答者が、モビリティの利用により滞在時間が「増加した」または「やや増加した」と回答している。

▼実証による南城市内での滞在時間への影響



（出典：利用者アンケートより）

14

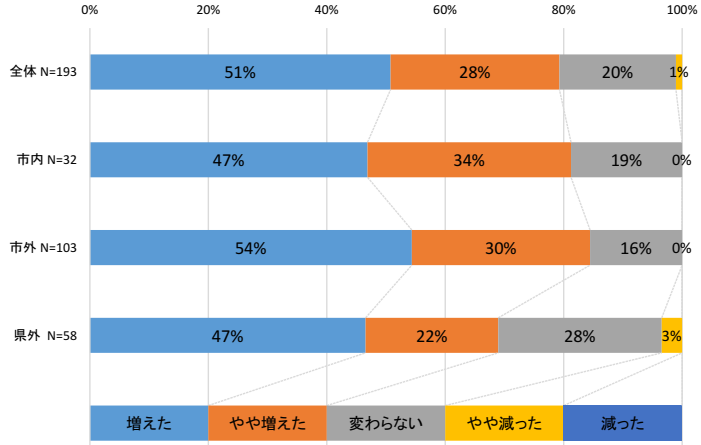
■実証調査の実施結果（8/13）

4）実証による観光振興への効果

④消費

◆70～80%程度の回答者が、モビリティの利用により消費が「増加した」または「やや増加した」と回答している。

▼実証による南城市内での消費（飲食や観光体験、買物等の購入）への影響



（出典：利用者アンケートより）

第２次観光振興計画のKPI（目標水準）

⑧ １人あたり観光消費額（県外客）

現状 2016	中間値 2022	目標値 2026	備考	基本方針との対応
12,718円	16,000円	20,000円	■5年毎に来訪者アンケート調査を実施	基本方針 2～7

今回の実証での県外客の消費額は**18,505円**

15

4）実証による観光振興への効果

⑤利用者特典等の利用状況

◆本実証の各特典の利用実績は、全体で285件であった。

▼利用者特典の利用実績

特典種類		件数	
①モビリティ利用者特典	おきなわワールド入場者特典（オリジナルポストカードをプレゼント）	2件	33件
	ガンガラーの谷　ガイドツアー利用者特典（オリジナルポストカードをプレゼント）	4件	
	天然温泉「猿人の湯」利用割引（通常入浴料から割引価格で利用可能）	15件	
	Café やぶさち（アイスクリームをプレゼント）	12件	
②地域内消費者特典	3 か所以上かつ3,000円以上（なんじぃグッズ等をプレゼント）	59件	81件
	3 か所以上かつ8,000円以上（上記に加え5組10名にペア宿泊券の抽選）	22件	
③南城市内宿泊者特典（宿泊者は、小型モビ、レンタサイクル、シャトルバスを無料、予約なしで利用可能）			73件
④Instagram投稿者特典（なんじぃグッズ等をプレゼント）			98件
合　計			**285件**

（出典：利用実績データより）

16

■実証調査の実施結果（9/13）

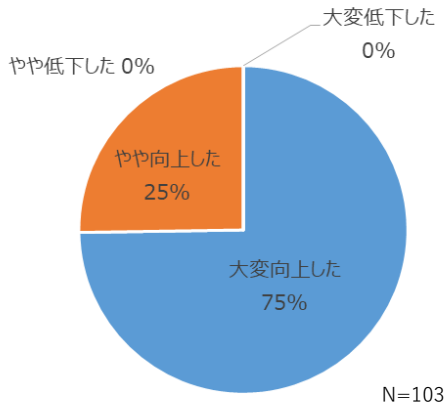
5）実証の評価について

①実証による満足度の向上

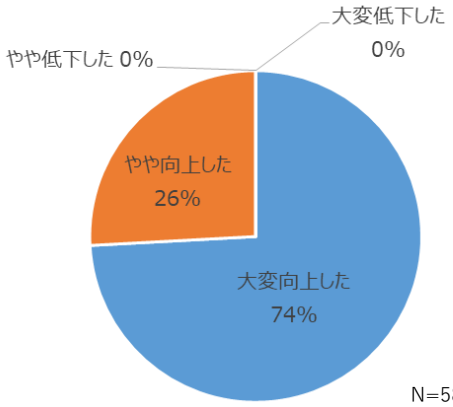
◆南城市外（県内）、県外ともに、全員が「大変向上した」もしくは「やや向上した」と回答している。

▼実証による南城市滞在の満足度の向上

▼南城市外（県内）



▼県外



（出典：利用者アンケートより）

17

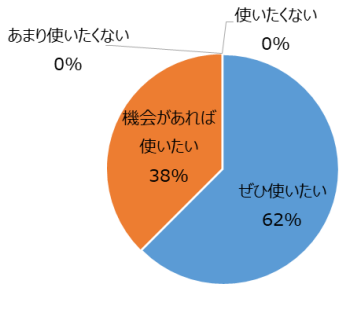
5）実証の評価について

②今後のモビリティの利用意向

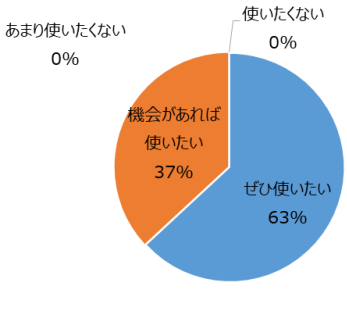
◆南城市内、市外（県内）ともに、全員が「ぜひ使いたい」もしくは「機会があれば使いたい」と回答している。
◆県外は、98%の方が「ぜひ使いたい」もしくは「機会があれば使いたい」と回答している。

▼今後のモビリティの利用意向

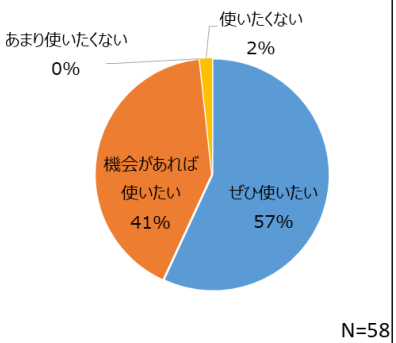
▼南城市内



▼南城市外（県内）



▼県外



（出典：利用者アンケートより）

18

■実証調査の実施結果（10/13）

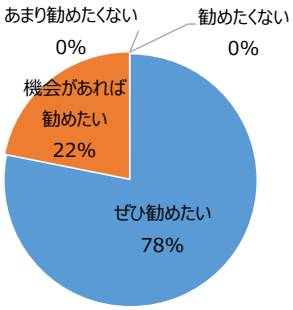
5）実証の評価について

③友人・知人への推奨意向

◆南城市内、市外（県内）ともに、全員が「ぜひ勧めたい」もしくは「機会があれば勧めたい」と回答している。
◆県外は、98%の方が「ぜひ勧めたい」もしくは「機会があれば勧めたい」と回答している。

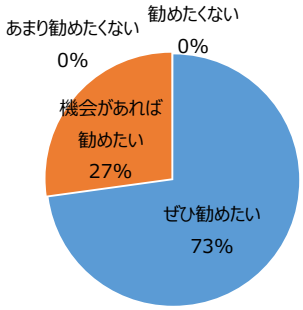
▼友人や知人への推奨意向

▼南城市内



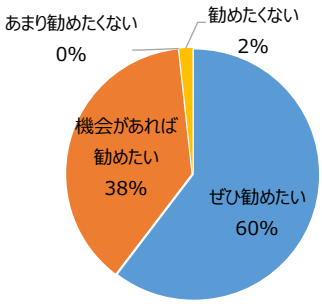
N=32

▼南城市外（県内）



N=103

▼県外



N=58

（出典：利用者アンケートより）

5）実証の評価について

④実証後のモビリティ利用の支払意思額

◆支払意思額の平均値をみると、どのモビリティにおいても、今回の実証で設定していた料金よりも大きい金額となっている。

▼実証後のモビリティ利用の支払意思額

モビリティの種類	平均値	中央値	最小値	最大値	今回の料金
折りたたみ自転車 N=12	1,050円	750円	300円	3,000円	500円
電動アシスト自転車 N=12	925円	650円	300円	3,000円	500円
小型モビリティ N=69	2,187円	2,000円	1,000円	5,000円	1,500円
EVカート N=88	570円	300円	50円	6,000円	0円
シャトルバス N=48	610円	500円	100円	2,000円	0円

（出典：利用者アンケートより）

■実証調査の実施結果（11/13）

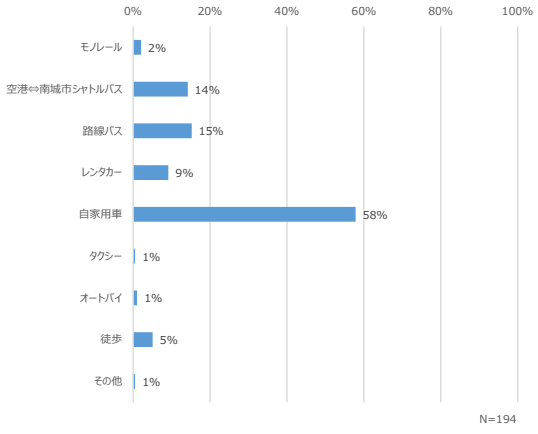
5）実証の評価について

⑤現地までのアクセス交通

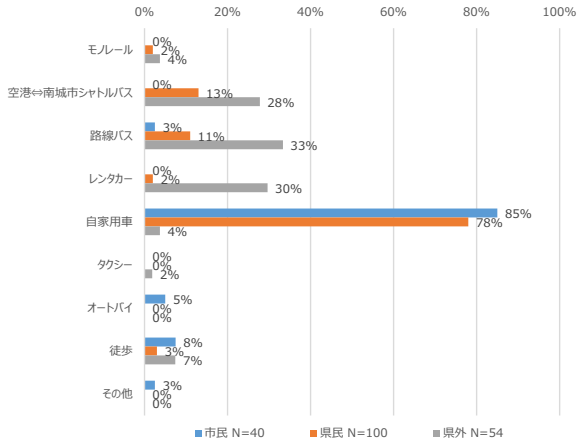
◆南城市民は、自家用車（85%）が最も多く、その他の交通手段は10%未満であった。
◆南城市外（県内）は、自家用車（78%）が最も多く、次いで本実証の空港⇔南城市シャトルバス（13%）であった。
◆県外は、路線バス（33%）が最も多く、次いでレンタカー（30%）、空港⇔南城市シャトルバス（28%）であった。
⇒県外については、路線バス、空港⇔南城市シャトルバスの合計で61%であり、バスの利用割合が高い傾向にあった。

▼現地までのアクセスに利用した交通手段

▼全体



▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外



（出典：予約情報データより）

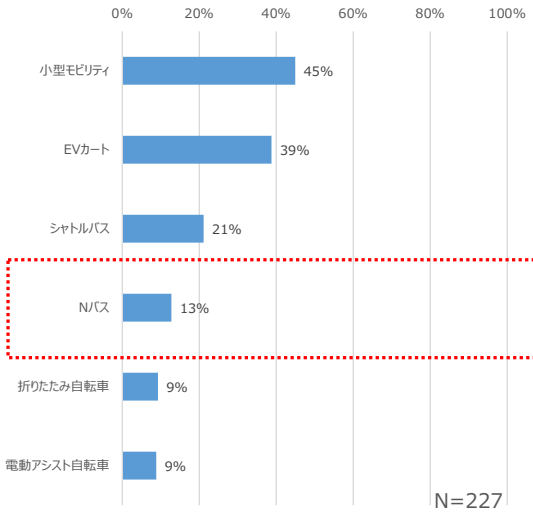
5）実証の評価について

⑥Nバスとの連携

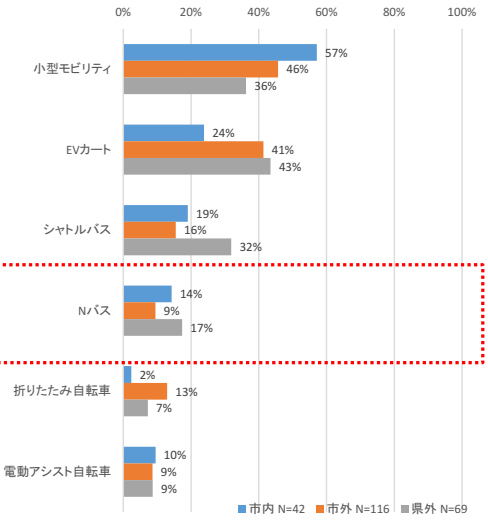
◆今回の実証参加者のNバスの利用は13%であった。区分別にみると、県外が17%と最も高く、市民14%、県外市外が9%となっている。
◆折りたたみ自転車とNバス１日乗車券のパッケージの販売数は５件であった。

▼今回利用したモビリティ

▼全体



▼居住地別：南城市内・南城市外（県内）・県外



（出典：利用者アンケートより）

■実証調査の実施結果（12/13）

6）参考：空港シャトルの実績詳細について

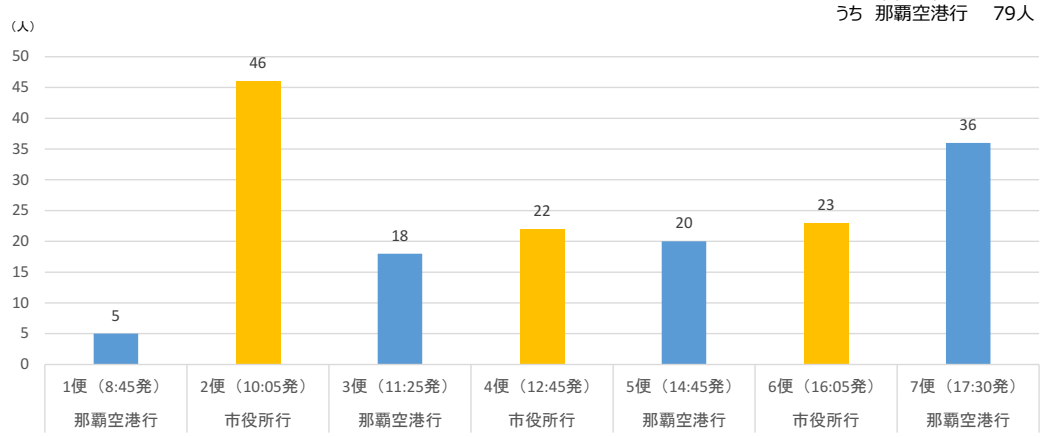
①空港シャトルの利用者数について

◆空港シャトルの利用者数（乗車人数）は延べ170人であった。方面別では南城市役所行が91人、那覇空港行が79人であった。

◆便別では、2便（10:05発）市役所行の利用が最も多く46人であった。次いで、最終の7便（17:30発）那覇空港行が多く36名の利用であった。

利用者数（乗車人数） のべ **170** 人
うち 市役所行 91人
うち 那覇空港行 79人

▼便別の利用者数



23

（出典：利用実績データより）

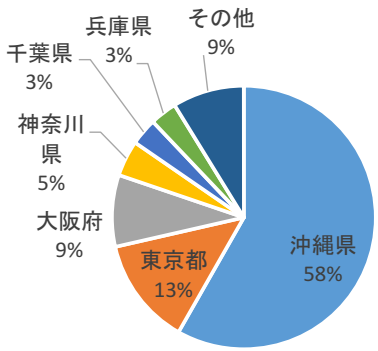
6）参考：空港シャトルの実績詳細について

②利用者の居住地

◆全体では、沖縄県が58%であり、県外は42%であった。県外では東京都が最も多く13%、次いで大阪府、神奈川であった。

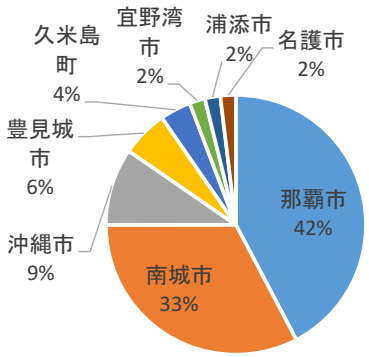
◆県内の市町村別では那覇市（42%）が最も多く、次いで南城市（33%）が多い。

▼全体（都道府県）



N=182

▼県内（市町村）



N=104

（出典：予約情報データより）

24

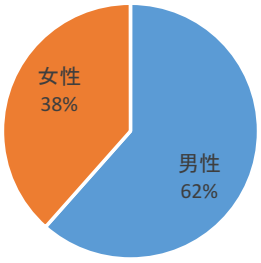
■実証調査の実施結果（13/13）

6）参考：空港シャトルの実績詳細について

③利用者の性別・年代

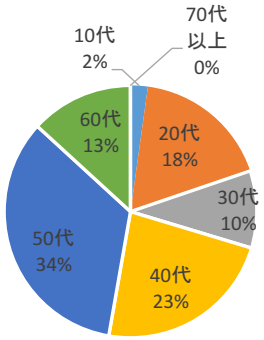
◆性別は全体で男性（62%）と男性の割合が高い。（予約者情報であることに留意）
◆年代は50代（34%）が最も多く、次いで、40代（23%）が多かった。

▼性別



N=182

▼年代



N=182

（出典：予約情報データより）

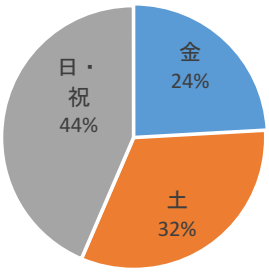
25

6）参考：空港シャトルの実績詳細について

④金／土／日・祝の利用状況について

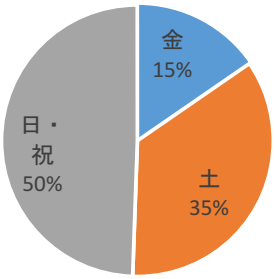
◆運行日の金、土、日・祝日の利用状況をみると、全体および各方面において日・祝日が最も多い。
◆日・祝に次いで、市役所方面では土（35%）が次いで多く、那覇空港方面では金（34%）が多い。

▼全体



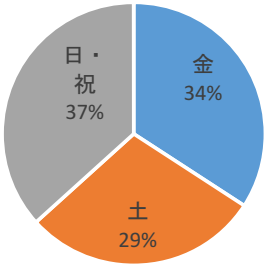
N=170

▼市役所方面



N=91

▼那覇空港方面



N=79

（出典：利用実績データより）

26

４．２ 課題の整理及び今後の取組検討

本実証調査の結果を踏まえ、課題の整理及び今後の取組の検討を行った。

今回の観光交通実証結果を総じて述べると、市内各所に小型モビリティ、レンタサイクル、EV カート等のモビリティを配置することで、①観光客の誘客に一定の効果が見られ、②滞在や周遊、消費を促進する効果が確認され、③利用者からの声も好評であり、満足度の向上に寄与した。また、④取組の継続を求める声も多く聞かれた。

そのため、実証で確認された改善点、課題等を踏まえつつ観光交通の取組を継続する方向性を検討した。

（１）課題の整理

本実証調査の結果を踏まえ、以下の７つに課題を整理した。

表 **28** 本実証の結果を踏まえた課題の整理（**1/2**）

①モビリティと観光のパッケージ	◆今回の実証でも利用者特典等により観光施設との連携を志向したが、モビリティと観光のパッケージや、周遊パス等により、地域の滞在、周遊、消費等をさらに促進する取組をあわせて実施していくことが求められる。
②アクセス交通との連携	◆今回の実証では県民利用が多かったことも一因としてはあるが、マイカーを利用して南城まできて、その後、小型モビリティや EV カートを利用し、市内を周遊するという観光パターンが多く見られた。 ◆今後の継続にあたっては、県外観光客、県内観光客とをわけ、特に県内観光客にどのように南城市まできてもらい楽しんでもらうか等を検討していく必要がある。
③スタイルの提案	◆今回の実証では、LP、リーフレット、SNS、ブログ等による情報発信を行ったが、特にモビリティを活用した南城観光の楽しみ方（スタイル）の検討および情報発信には課題が残った。 ◆レンタカーやマイカーではないからこその、滞在や周遊や消費をさらに促進するような、満足度をさらに向上し、再訪を促すようなスタイルを提案するとともに、それにもとづく情報発信を引き続き検討・実施する必要がある。

表 **29** 本実証の結果を踏まえた課題の整理（**2/2**）

④N バス等の公共交通との連携	◆今回の実証参加者のうち、13%（県外 17%、県内市外 9%、市民 14%）がＮバスを利用したことから、本実証実験によるＮバスの利用促進効果は一定程度あると考えられる一方で、Ｎバスを降りたあとのモビリティの実証という観点では課題が残った。 ◆上記の①から③あわせて、この点については、十分な検討・仕掛けが求められる。
⑤市民観光の促進	◆今回の実証では、２割程度が南城市民の利用であり、結果として南城市民の市内観光を促進する効果がみられた。 ◆そのため、市民観光や市民の日常利用の観点での利便性や使いやすさ、特典やインセンティブ等含め検討することが求められる。
⑥新たな取組の検討・実施	◆今回配置したモビリティ以外の取組についても引き続き検討していくことが求められる。 ⇒各種調整や精査は必要であるが、観光客目線でのニーズが想定される海沿いの観光エリア、玉泉洞、市役所（ユインチホテル）等をダイレクトに結ぶ周遊バスなど
⑦司令塔機能の構築	◆観光交通の取組を個々ではなく、地域全体として結びつけ、各モビリティ間の調整を図り、地域公共交通含めて総合的に検討可能なモビリティオペレータ機能の確立が求められる。

（２）今後の取組検討（モビリティの継続に向けた方向性）

課題ならびに関係者との協議を踏まえ、モビリティごとの今後の継続に向けた方向性について取りまとめた。

１）小型モビリティ

◆今回の実証実験では、一定の利用ニーズが確認されたため、今回の実証実験結果を踏まえ、民間事業者にて南城市内にて引き続き継続する方向で検討。

◆具体的には、りゅうにちホールディングス（HD）が車両および独自のアプリによるカーシェアリングのシステムを市内事業者に提供。市内事業者が貸渡場所等を提供し、運用するとともに、周知・広報等を実施。

⇒例えば、ユインチホテル・南城、観光協会（がんじゅう駅・南城）等で実施。（設置箇所やメンテナンス等の協議は必要）

２）レンタサイクル

◆今回の実証実験では、小型モビリティと比較すると利用は多くはなかった。

⇒潜在的なニーズはあると考えられ PR や訴求方法の工夫等により一定の利用促進は図られることが期待される一方、民間事業者が採算をとって運営することは現時点では難しいと考えられる。

⇒したがって、モビリティ単体のビジネスとしてではなく、地域全体としての来訪者サービス向上の一環として継続する方向が想定される。

◆具体的には、観光協会が実施主体となり、既存のレンタサイクルを拡充する方向で検討。貸渡場所については、市内事業者や施設の協力のもと、複数の場所での貸渡を実施。メンテナンスや利活用促進については、沖縄輪業がサポート。

◆複数箇所で貸出を行う場合の乗り捨てサービスの可否等は検討が必要。

⇒利用者ニーズはあるため、運用が可能かどうかの観点から検討　等

３）EV カート

◆今回の実証実験では、一定の利用ニーズが確認された。今回の実証実験は利用者から料金をとらずに実施したが、継続を検討するにあたっては、車両をレンタルする場合、台・日あたり１万８千円。加えて運転手費用がかかる。（原価として台・日あたり４万円程度は要する）

◆民間による継続を検討する場合、利用者から料金をとり、採算確保を検討することとなる。

⇒料金をとる場合、許認可、法規制含め所定の手続き、十分な議論が必要となる（緑ナンバー取得など）。

⇒利用者から料金をとる場合は大きく以下の３パターンが考えられる。

①乗合バスとして運賃をとる：

- 原則、既存の路線バス事業者が検討することとなる
- 地域公共交通会議での議論、沖縄総合事務局への届け出のうえ、時刻表通りの運行等が必要

②タクシー（観光タクシー）として料金をとる：

- 原則、既存のタクシー事業者が検討することとなる（タクシー・ハイヤー業の許可が必要）
- 地域公共交通会議での議論、沖縄総合事務局への届け出等が必要

③ツアーとして料金をとる：

- 観光施設とのパッケージ、ならびに旅行業法にしたがった事前説明や予約、料金徴収等が必要

◆モビリティの運行で採算を検討するのでなく、モビリティが運行していることによる観光振興効果（滞在、周遊、消費促進等）や持続可能な観光交通の確立などに主眼をおくと（利用者からお金を取らなければ）以下のような案が考えられる。

案①：夏季等のピークシーズンに観光振興の一環として行政が費用をだして運行

⇒例えば、夏季の１ヶ月間２台で実施するとレンタル費用、ドライバー費用、その他経費等で３００万円程度のコストがかかる。

⇒持続的に（長期的に）継続するうえでは、必要性に対する十分な議論が必要となる。

案②：地域の来訪者から別途費用を徴収し、その費用を原資に運行

⇒例えば、奥武島のクルマでの来訪者に対して、市民以外は駐車料金をとり（500 円など）、その費用をカート運行費用にあてる、など

５．関係者会議の開催

本実証調査の内容について、今後の担い手となる市内事業者や専門家・有識者等による関係者会議を３回開催し、実証調査の在り方や検証した効果の活用、課題解決の取組方針、自走化に向けた展開などについて検討を行った。

５．１ 第１回関係者会議の開催概要

第１回関係者会議の実施結果を以下に示す。

（１）開催日時・場所

日時：令和２年 10 月８日（木）16:00～

場所：ユインチホテル南城　２階　愛情の間

（２）議事次第

第１回関係者会議における議事次第を以下に示す。

１．挨拶
２．報告
「南城市観光交通実証事業」の実証調査の概要について説明
1）拠点・ルート案の詳細
2）利用者向けの媒体について
3）広報・周知について
4）効果検証調査の実施方針
３．議事
実証調査の概要について
４．その他意見交換

（３）出席者

第１回関係者会議における出席者を次ページに示す。

表 30　出席者名簿

No	氏名	所属
1	小島　肇	琉球大学 地域連携推進機構
2	谷田貝 哲	バスマップ沖縄
3	中村 圭一郎	株式会社アンカーリングジャパン
4	砂川 卓郎	ユインチホテル南城
5	森 美恵子	bazar BonoBo-no
6	中村 明男	株式会社南都　企画広報課
7	熊谷 美喜子	朝陽の宿 涼風
8	秋本 康治	なんじょう地域デザインセンター
9	大城 直輝	株式会社ヤブサチ
10	相澤 和人	イーストホームタウン沖縄株式会社
11	森 豊	沖縄輪業株式会社
12	河野 竜也	沖縄輪業株式会社
13	池原 隆一	沖縄観光バス株式会社
14	屋宜 宣史	沖縄バス株式会社
15	永峯 健司	沖縄バス株式会社
16	與那嶺 等	沖縄バス株式会社
17	大嶺 貴史	東陽バス株式会社
18	盛岡 康博	株式会社りゅうにちホールディングス
19	仲宗根 朝雄	株式会社りゅうにちホールディングス
20	米田 洋一	株式会社沖縄ヤマハ
21	伊口 明高	一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄
22	喜瀬 斗志也	南城市企画部企画課
23	小波津 良	南城市企画部企画課





会議の様子

５．２ 第 2 回関係者会議の開催概要

第２回関係者会議の実施結果を以下に示す。

（１）開催日時・場所

日時：令和２年 11 月 24 日（火）16:00～

場所：ユインチホテル南城　２階　夢の間

（２）議事次第

第２回関係者会議における議事次第を以下に示す。

１．挨拶
２．報告
「南城市観光交通実証事業」の実証調査の概要について説明
1）WEB、予約サイト関連
2）実証の実施概況
3）周知・告知等の実施状況
4）モニター企画の実施結果
３．議事
検証内容等について
４．その他意見交換

（３）出席者

第２回関係者会議における出席者を次ページに示す。

表 31　出席者名簿

No	氏名	所属
1	小島　肇	琉球大学 地域連携推進機構
2	谷田貝 哲	バスマップ沖縄
3	中村 圭一郎	株式会社アンカーリングジャパン
4	大城　哲明	一般社団法人南城市観光協会
5	砂川 卓郎	ユインチホテル南城
6	森 美恵子	bazar BonoBo-no
7	中村 明男	株式会社南都　企画広報課
8	熊谷 美喜子	朝陽の宿 涼風
9	秋本 康治	なんじょう地域デザインセンター
10	森 豊	沖縄輪業株式会社
11	池原 隆一	沖縄観光バス株式会社
12	屋宜 宣史	沖縄バス株式会社
13	永峯 健司	沖縄バス株式会社
14	與那嶺 等	沖縄バス株式会社
15	大嶺 貴史	東陽バス株式会社
16	中村 隆一	株式会社 琉球バス交通 ／那覇バス株式会社
17	古堅 宗昭	株式会社りゅうにちホールディングス
18	仲宗根 朝雄	株式会社りゅうにちホールディングス
19	米田 洋一	株式会社沖縄ヤマハ
20	伊口 明高	一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄
21	大田 徹	南城市企画部企画課
22	喜瀬 斗志也	南城市企画部企画課




会議の様子

５．３ 第３回関係者会議の開催概要

第３回関係者会議の実施結果を以下に示す。

（１）開催日時・場所

日時：令和２年２月４日（木）16:00～

場所：ユインチホテル南城　２階　希望の間

（２）議事次第

第３回関係者会議における議事次第を以下に示す。

１．挨拶
２．報告
「南城市観光交通実証事業」の実証調査の概要について説明
1）実証実験の結果について
2）モビリティの継続に向けて
３．議事
実証実験の結果について
４．その他意見交換

（３）出席者

第３回関係者会議における出席者を次ページに示す。

表 32　出席者名簿

No	氏名	所属
1	小島　肇	琉球大学 地域連携推進機構
2	谷田貝 哲	バスマップ沖縄
3	中村 圭一郎	株式会社アンカーリングジャパン
4	屋我　英樹	一般社団法人南城市観光協会
5	大城 哲明	一般社団法人南城市観光協会
6	砂川 卓郎	ユインチホテル南城
7	森 美恵子	bazar BonoBo-no
8	中村 明男	株式会社南都　企画広報課
9	熊谷 美喜子	朝陽の宿 涼風
10	森 豊	沖縄輪業株式会社
11	池原 隆一	沖縄観光バス株式会社
12	屋宜 宣史	沖縄バス株式会社
13	永峯 健司	沖縄バス株式会社
14	大嶺 貴史	東陽バス株式会社
15	大城 逸雄	株式会社 琉球バス交通 ／那覇バス株式会社
16	盛岡 康博	株式会社りゅうにちホールディングス
17	古堅 宗昭	株式会社りゅうにちホールディングス
18	仲宗根 朝雄	株式会社りゅうにちホールディングス
19	米田 洋一	株式会社沖縄ヤマハ
20	伊口 明高	一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄
21	喜瀬 斗志也	南城市企画部企画課





会議の様子